

## はじめに

この年報は、四日市市及び受託する三重郡朝日町、川越町にかかるとる主な消防業務を平成21年中又は平成21年度を中心として収録し、将来の参考として資すると共に、広く消防事象を紹介するためにとりまとめたものです。

住民のみなさん及び関係者の方に広く活用され、本市消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いと存じます。

平成22年6月

四日市市消防本部

# 目 次

四日市市の位置	1
四日市市の沿革消防概要	2
四日市市の地勢	3
四日市市消防の沿革	4～7
歴代消防長	7
四日市市消防機構図	8
<b>総 務</b>	
一目統計(総務)	9
平成21年度・22年度消防費歳出予算	10
消防費に対する人口世帯当たり額/過去10年間の消防費の推移	11
消防職員の推移	12
消防職員特殊技能資格取得状況	12
階級別・所属別消防職員配置状況	13
消防職員年令別分布	14
消防職員勤続年数別分布	15
消防車両配置状況	16
消防用資機材配置状況	17
職員研修実施状況	18
プリセプターシッププログラム	19～21
平成21年度主要記録	22～23
平成22年度消防重点事業	24
相互応援協定	25
<b>警 防</b>	
一目統計(火災)	26
平成21年中の火災概要	27
火災概要	28
火災発生状況比較	29
出火率比較	29
地区別火災発生状況	30
月別・時間別火災発生状況	31
出火原因別火災発生状況	32
過去10年間年別主な火災原因	33
過去10年間の火災発生状況	34
海上・沿岸防災等(IBK委託状況)	35
火災・救助以外の消防車の出動	36
消防水利状況	37
開発行為に関する事前協議等	38
緊急消防援助隊の派遣体制	39
四日市市消防支援隊の活動状況	40
自主防災組織の育成	41
耐震性貯水槽設置場所	42
防災教育センター利用状況	43
四日市市防災指導員制度(指導状況)	44
防火・防災教室の経緯と現状	45
<b>救助・救急</b>	
一目統計(救助)	46
救出・救助活動状況	47
水難救助隊の災害出動概要	48
一目統計(救急)	49
平成21年中の救急業務の概要	50～51
救急概要	52
救急事故発生状況比較	53
過去10年間の救急事故発生状況	53
地区別救急出場状況	54
月別救急出場状況	55
応急手当の普及計画	56
応急手当普及啓発活動の状況	56
応急手当普及活動による救命率の向上	57

## 通信・気象

一 目 統 計 (通信・気象)	58
指令事務の共同運用・消防通信施設の概要	59
119番通報受付取扱状況	60
通信施設保有状況	61
無線配置状況	61
月別救急医療情報案内状況	62
気象予報・警報発表状況	63
気象状況(風速・温度・湿度・風向・降雨量)	64

## 予 防

一 目 統 計 (予 防)	65
広報活動状況	66
広報用印刷物	66
年別建築同意状況及び防火対象物の推移	67
建築同意件数	67
消防用設備等届出状況	67
危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況	67
年別危険物施設・設置許可数及び危険物施設数の推移	68
危険物許可事務処理状況	68
火災予防条例等に基づく届出事務処理状況	69
防火対象物状況(階層別)	70
防火対象物状況(消防用設備別)	71
防火対象物状況(地区別)	72
数量・類別危険物施設設置状況	73
地区別危険物施設設置状況	74
事業所等別危険物施設状況	75
コンビナート概要	76
特定防災施設	76
コンビナート防災体制	77
広域共同防災組織	78
四日市臨海地区事業所配置図	79～80

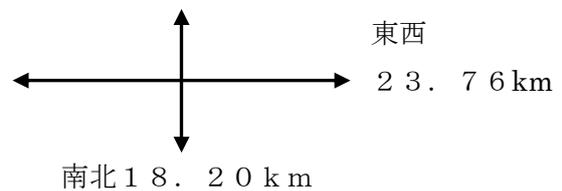
## 消 防 団

四日市市消防団の沿革	81～82
歴代消防団長	82
消防団の概況	83
消防団員の状況	84
消防団員出動状況	85
消防団訓練・研修実施状況	85
さるびあ分団活動状況	86
消防団防災支援隊の登録状況	86

# 四日市市の位置



北緯 34° 57'  
 東経 136° 38'  
 面積 220.22km<sup>2</sup>



## 四日市市の沿革

四日市市は三重県の北部に位置し、西は鈴鹿山系、東は伊勢湾に面した温暖な地域です。すでに旧石器時代から人々が住み、市内には縄文から弥生時代の遺跡も数多く存在しています。市内各所に古墳が築かれ、なかでも志氏神社古墳は市内唯一の前方後円墳として知られています。8～10世紀には智積廃寺や上品寺の釈迦如来座像など四日市地域への仏教文化の広がりが認められ、また、多度神宮寺伽藍縁起并資財帳によれば条里が整備されていた様子がうかがえ、平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でありました。それだけに鎌倉、南北朝、室町時代には時の指導者がその被官を北伊勢に配置しました。

1473年の外宮庁宣案に「四ケ市庭浦」の地名が出てきます。この頃すでに定期市「四日市」が立っていたことがうかがえます。江戸時代、市場町・湊町の四日市に「宿場町」「陣屋・代官所の町」が加わり、北勢の行政・商業の中心地として知られるようになりました。幕末から明治にかけ、菜種油・肥料の生産や取り引きの盛んな町として栄え、四日市港の修築を機に、生糸、紡績を中心とした繊維工業へ、さらに機械工業や化学工業の進出が相次ぎ、日本の近代工業化への歩みを模したかのような形で四日市地域が商工業の都市に進展しました。明治30年に市制を施行し、昭和5年に塩浜、海蔵の両村を合併して以来、周辺町村を併合し、さらに平成17年2月の楠町との合併で現在の市域になりました。昭和30年代以降、石油化学工場等の進出は、大気汚染等の公害をもたらしましたが、今では環境浄化に努力し、自然との調和を目指した街づくりにまい進しています。

## 消防概要

本市消防体制は、消防本部に総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課・防災教育センターを設置し、市街地に中消防署・北消防署・南消防署の3消防署を置くとともに、海上・沿岸地域に港分署、市西部に西分署、市中央部に中央分署、北西出張所及び西南出張所を、受託地域の三重郡朝日町に北消防署朝日川越分署をそれぞれ配置して有事即応体制の確立を図っています。

これに対応する消防力として、消防職員320名、消防車両78台のほか、1消防団及び市内各地区に26分団・団員620名・29分団車両を配備しています。

一方、大規模な災害に対応するため、緊急消防援助隊の三重県代表消防本部としても広域応援訓練に参加すると共に、耐震性貯水槽の設置をはじめ、住民による自主防災組織の活性化を図り、住民と一体で安心・安全なまちづくりを目指しています。

四日市市の地勢と消防機関の配置

(平成22年4月1日)

署別・地区別	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	人 口	人口密度(1km <sup>2</sup> あたり)	
合 計	220.23	136,199	337,451	1,532	
中 消 防 署 管 内	小 計	68.09	56,154	136,338	2,002
	共 同	1.10	3,710	7,500	6,818
	同 和	0.12	352	797	6,642
	中 央	0.52	1,086	2,407	4,629
	港	1.80	996	1,992	1,107
	浜 田	3.00	5,681	11,315	3,772
	橋 北	2.62	2,665	5,926	2,262
	海 蔵	3.65	5,333	13,466	3,689
	常 磐	4.89	11,974	27,340	5,591
	川 島	7.89	4,386	12,330	1,563
	神 前	7.40	2,678	7,142	965
	桜	12.02	5,744	16,154	1,344
	県	11.25	2,445	7,134	634
	三 重	11.83	9,104	22,835	1,930
北 消 防 署 管 内	小 計	65.89	42,651	108,926	1,653
	羽 津	8.80	6,605	16,333	1,856
	富 田	4.82	5,037	11,848	2,458
	富洲原	2.04	3,708	9,357	4,587
	大矢知	6.89	7,604	18,900	2,743
	八 郷	10.21	4,765	13,097	1,283
	下 野	7.57	3,255	8,334	1,101
	保 々	10.86	2,560	7,496	690
	朝日町	5.99	3,514	9,535	1,592
	川越町	8.71	5,603	14,026	1,610
南 消 防 署 管 内	小 計	86.24	37,394	92,187	1,069
	塩 浜	7.44	2,984	6,734	905
	日 永	7.23	7,834	18,106	2,504
	四 郷	8.40	10,460	24,690	2,939
	内 部	12.31	6,874	18,227	1,481
	河原田	5.12	1,830	4,609	900
	小山田	18.35	1,862	4,969	271
	水 沢	19.63	1,141	3,435	175
楠	7.76	4,409	11,417	1,471	
四日市市	205.53	127,082	313,890	1,527	
受託2町	14.70	9,117	23,561	1,603	

## 四日市市消防の沿革

明治19年	四日市に初めて火防組1組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組 消防夫864人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組 消防夫1,396人となる
明治27年2月	勅令をもって消防規則が公布される
明治28年12月26日	各町自警消防組を統合し、新たに四日市町消防組として発足 四日市町消防組 第1番組 川原町、末永、浜一色(橋北地区) 第2番組 西町、久六町、比丘尻町、堅町、南町、北町、上新町 (共同地区) 第3番組 中町、境町、八幡町、中新町、四ツ谷新町、南新町 (同和地区) 第4番組 浜町、北条町、下新町、新町(同盟地区) 第5番組 蔵町、北納屋町、中納屋町、桶ノ町、袋町、高砂町、 稲葉町、南納屋町(港地区) 第6番組 浜田、赤堀(浜田地区) 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鳶口31 刺又6 釣瓶13 斧6 大縄6 纏6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消口札6
明治30年	市制実施とともに四日市町消防組も市に引き継がれる
大正6年10月	第5番組(港地区)に初めてガソリンポンプを配置
大正12年1月	総ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組(海蔵地区) 第8番組(塩浜地区)が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道工事が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切替え、警防団令を発令した
昭和14年4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体一本化し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員 622人(うち本部消防部16人) 分団に警防、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和15年1月16日	分団とは別に常備の本部消防部が組織され、部員が任命され事務所を市役所に置く 本部消防部定員16人(部長1副部長1警防員14) 警防団の装備 自動車ポンプ 5台(うち本部所属1台) 三輪自動車ポンプ1台 ガソリンポンプ2台 サイドカー1台(本部所属1台) 初代部長 東 平三氏
昭和15年4月16日	本部消防部の勤務体制を2部制24時間勤務とし、望楼見張勤務を始める
昭和15年6月4日	本部消防部にポンプ自動車配置 日産ポンプ自動車 29AT式KMC2段タービン26馬力 (警防団長 九鬼紋七氏の寄付)
昭和16年8月28日	本部消防部詰所に火災報知専用電話を設置(警察署より移転)
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和22年4月8日	千歳町に常備消防港派出所を開所 ポンプ自動車2台配備 本部員7人(本部と輪転勤務)
昭和23年3月7日	消防組織法が施行され、消防団は大正6年から続いていた警察行政から分離し、自治体消防に形を変える
昭和24年3月29日	四日市市常備消防部を廃止し、四日市市消防本部を設置 消防職員55人 消防自動車4台(速消車1・普通消防車3) 初代消防長に吉田千九郎氏(四日市市長兼務) 就任
昭和26年6月20日	消防本部富田出張所を建設・開所 消防職員定員 70名
昭和29年5月8日	機構改革により消防本部を分離して四日市消防署を設置し、港、富田出張所をその傘下に統一した
昭和29年11月15日	吉田千九郎氏消防長を退任
昭和29年11月16日	2代目消防長に中村松次郎氏就任
昭和29年12月1日	消防本部の機構改革により総務・整備・消防・予防の4係を置く
昭和32年4月1日	消防職員定員 90名
昭和32年11月1日	消防と警察の特別援助協力協定を締結
昭和34年2月24日	消防本部、消防署合同庁舎を新築し移転
昭和35年4月1日	消防職員定員 91名
昭和35年12月15日	救急業務を開始
昭和36年3月31日	中村松次郎氏消防長を退任

昭和36年4月1日	消防職員定員 106名
昭和36年4月15日	3代目消防長に竹内鉄雄氏就任
昭和36年5月1日	機構改革により消防本部に次長を設け、総務・消防の2課、総務・整備・消防・予防の4係を置き、消防署に総務・消防・予防の3係を置く 富田出張所を北出張所と改称
昭和37年1月20日	南出張所を開所
昭和38年4月1日	消防職員定員 125名
昭和38年5月24日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定締結
昭和39年4月1日	消防職員定員 139名
昭和39年10月1日	機構改革により四日市消防署を中消防署と改称、北出張所・南出張所をそれぞれ消防署に昇格
昭和40年10月1日	桜、保々分遣所を開所
昭和41年4月1日	消防職員定員 159名
昭和42年4月1日	消防職員定員 166名
昭和43年3月31日	竹内鉄雄氏消防長を退任
昭和43年4月1日	4代目消防長に富山光三氏就任 消防職員定員 171名
昭和43年7月1日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を締結
昭和44年3月31日	一斉指令装置を設置
昭和44年4月1日	消防職員定員 176名
昭和45年4月1日	機構改革により、本部の2課4係にあらたに予防課を設け、総務・消防・予防の3課、庶務・装備・消防・通信救急・予防・危険物の6係とした 中消防署港出張所を同署港分署に昇格 消防職員定員 185名
昭和45年5月21日	中消防署港分署に双胴型消防艇「あさかぜ」を配備
昭和46年4月1日	消防職員定員 190名
昭和46年4月6日	北消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積760,31㎡、監視用テレビカメラ装置付)
昭和46年5月22日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定を改定締結
昭和47年3月31日	富山光三氏消防長を退任
昭和47年4月1日	5代目消防長に倉谷徳助氏就任
昭和49年4月1日	消防職員定員 191名
昭和49年6月4日	南消防署庁舎改築(鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積759,9㎡)
昭和50年3月31日	倉谷徳助氏消防長を退任
昭和50年4月4日	6代目消防長に松村佳美氏就任 消防職員定員 193名
昭和50年10月1日	小山田分遣所を開所
昭和50年10月22日	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市及び長島町の高速度道路における消防相互応援協定を締結
昭和51年4月1日	消防職員定員 194名
昭和51年4月16日	機構改革により、本部予防課に指導査察係を置く
昭和52年3月25日	石油コンビナート等災害防止法に基づき、高所放水車・大型化学車・泡原液搬送車の3点セットを中消防署に配備
昭和52年4月1日	消防職員定員 197名
昭和52年7月1日	機構改革により、本部に警防技監・主幹・主任を、消防署に副署長・主任の設置制度及び中消防署に消防第3係を設け、本部通信救急係を通信指令室に改めた
昭和53年3月31日	通信指令室に防災指令装置を設置 松村佳美氏消防長を退任
昭和53年4月1日	消防職員定員 200名
昭和53年4月5日	7代目消防長に渡邊靖三氏就任
昭和53年12月23日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を改定締結
昭和54年4月1日	消防職員定員 207名
昭和55年4月1日	機構改革により、本部の主幹を課長補佐に改め主任を廃止し、総務課に企画係を、消防課に防災指導係を置き、通信指令室を指令第1及び第2係に改めた 消防署の副署長を署長補佐に改め、主任を廃止した 消防職員定員 215名
昭和56年2月26日	中消防署に救助工作車を配備
昭和56年4月1日	消防職員定員 222名
昭和57年4月1日	消防職員定員 227名
昭和57年12月1日	三重県救急医療情報システム地域救急医療情報センターを開設し、運用開始
昭和58年4月1日	消防職員定員 232名
昭和58年9月30日	渡邊靖三氏消防長を退任
昭和58年10月1日	8代目消防長に山口博氏就任
昭和59年4月1日	機構改革により、各消防署の庶務係を予防係に統合し、北・南消防署に消防第3係を置き、総務課庶務係を総務係に、装備係を施設装備係に、消防課消防係を警防係に、防災指導係を防災係に、予防課予防係を建築物係にそれぞれ改めるとともに主幹・主査及び副主査制度を設けた

	消防職員定員 236名
昭和59年10月31日	消防本部・中消防署合同庁舎改築(本館棟、鉄骨鉄筋コンクリート造5階一部6階建、建築延面積3,829.09㎡)
昭和60年4月1日	消防職員定員 235名
昭和60年10月18日	桜分遣所改築
昭和62年4月1日	機構改革により消防本部に副参事を設け、研修所及び総務課企画係を統合し企画研修室とした 消防課指令係に第3係を増設し、3係制とした 消防職員定員 240名
昭和62年11月30日	中消防署港分署に配備の消防艇「あさかぜ」を単胴船に更新
昭和63年3月31日	桜分遣所を廃止した
昭和63年4月1日	中消防署西分署を開設(鉄筋コンクリート造平屋建 延べ面積390.85㎡)、4月8日から業務開始、 4月18日竣工式を挙行 機構改革により、西分署に消防第1係、消防第2係、消防第3係を設置し 港分署水上係を水上第1係、水上第2係、水上第3係に改めた 海上分団に普通ポンプ自動車(旧第4号車)を配備した
平成元年10月2日	消防業務のOAシステム(予防)の運用を開始した
平成2年3月31日	山口博氏消防長を退任
平成2年4月2日	9代目消防長に島村隆氏就任
平成2年10月1日	「一人暮らしの老人に対する緊急通報事業」の運用を開始した
平成2年12月6日	中消防署にはしご付消防自動車(45m)を配備
平成3年1月21日	消防業務のOAシステム(指令管制)の運用を開始した
平成3年2月28日	三重郡楠町、朝日町及び川越町と四日市市との間において消防事務委託に関する付属協定書・ 同覚書の調印を行った
平成3年4月1日	中消防署港分署庁舎移転・新築(鉄筋コンクリート造一部2階建延べ面積208.75㎡) 消防職員定員 245名
平成4年4月1日	三重郡楠町、朝日町及び川越町の消防事務受託に伴い消防職員を増員 消防職員定員 274名 県下初の女性消防吏員3名を採用
平成4年4月15日	消防本部次長を2人制とし、消防課に救急救助係を設けた
平成4年6月23日	救急救命中央研修所及び大阪市消防学校において各1名が研修を終了し、4月19日第1回 救急救命士国家試験に合格 県下初の救急救命士 2名誕生
平成5年2月10日	三重郡楠町の消防事務受託に際し、南消防署を一部増築(事務所部分135.18㎡)
平成5年2月26日	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を建設(鉄筋 コンクリート造一部2階建、延べ面積560㎡)竣工式を挙行
平成5年3月1日	三重郡楠町、朝日町、川越町の消防事務を受託し業務開始 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車・軽トラック各1台を配備、予防係、消防第1係、 消防第2係、消防第3係、を設置し分署長以下18名で業務を開始した
平成5年4月1日	機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設けた 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始した 消防音楽隊を再結成し、練習・訓練を開始した 消防職員定員 284名
平成6年4月1日	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した 消防職員定員 286名
平成7年3月 3日	四日市市消防本部・四日市市消防団連名で、消防庁長官表彰・表彰旗を受章
平成7年4月1日	消防職員定員 290名
平成8年3月31日	島村隆氏消防長を退任
平成8年4月1日	10代目消防長に小山佳志氏就任 消防職員定員 294名
平成8年7月12日	消防緊急通信指令システム運用開始
平成9年4月1日	機構改革により、消防本部に防災教育センター、中消防署に特別救急救助第1、第2、第3係を設けた
平成9年4月10日	北消防署、防災教育センター竣工
平成10年2月1日	予防システムのOA機器更新
平成10年4月1日	機構改革により、消防本部総務課の所管として情報指令室を置き、同課施設装備係を装備係に、 消防課を消防救急課に、同課の防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、予防課を 予防保安課に、同課の建築物係を予防係に、危険物係を保安係に、指導査察係を安全指導係に、 各消防署及び朝日川越分署の予防係を指導係に、中消防署の消防第1～3係及び特別救急救助 第1～3係を消防救助第1～3係及び救急係に改称し、北消防署及び南消防署に救急係を設置した 消防職員定員 293名
平成10年10月5日	北勢地域携帯電話119番通報運用開始
平成11年3月31日	小山佳志氏消防長を退任

平成11年4月1日	消防職員定員 292名
平成11年4月3日	11代目消防長に星合隆毅氏就任
平成12年10月1日	北消防署保々分遣所を廃止し、新たに北消防署北西救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成14年2月27日	中消防署に救助工作車(Ⅲ型)を増強配備した
平成14年3月31日	小山田分遣所を廃止
平成14年4月1日	機構改革により北消防署消防係を消防救助係に改め、救助工作車の運用を開始した
平成14年10月1日	小山田地区市民センター内に、新たに南消防署西南救急分駐所(職員3名、救急車1台)を開設
平成15年3月31日	星合隆毅氏消防長を退任 消防音楽隊活動休止
平成15年4月1日	12代目消防長に鈴木史郎氏就任 四日市市消防本部水難救助隊発足
平成15年4月13日	四日市市消防本部水難救助隊発足式
平成16年4月1日	四日市市消防団防災支援者制度発足
平成16年8月20日	四日市市消防支援隊発足
平成17年1月1日	消防情報支援システムの運用開始
平成17年2月7日	四日市市と楠町が合併し新たな四日市市が誕生
平成17年4月1日	機構改革により消防本部総務課情報指令室を消防本部情報指令課に改組した 消防音楽隊を再編し、活動再開
平成17年8月9日	北勢地域携帯電話からの119番通報がブロック代表受信方式から直接受信方式に切替
平成18年4月1日	13代目消防長に北川保之氏就任 消防職員定員310名
平成18年7月10日	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の設置
平成19年4月1日	消防職員定員320名 四日市市、桑名市消防本部が、桑名市消防本部内で消防指令センターの共同運用を開始 機構改革により消防本部消防救急課の指揮支援隊の24時間体制を開始、南消防署消防係を 消防救助係に改め救助工作機能付消防ポンプ自動車の運用を開始した
平成20年4月1日	特別救助隊に替えて高度救助隊を導入
平成20年11月1日	中消防署中央分署を開署(鉄筋コンクリート造3階建 敷地面積 5, 227㎡)、11月10日から業務開始 11月16日開署式を挙行
平成22年3月31日	北川保之氏消防長を退任
平成22年4月1日	14代目消防長に川北悟司氏就任 機構改革により、北消防署北西救急分駐所、南消防署西南救急分駐所に消防ポンプ自動車を配置し、 北消防署北西出張所、南消防署西南出張所とした 国際消防救助隊として6名の隊員を登録した

歴 代 消 防 長

代	氏名	在 職 期 間
初	吉 田 千 九 郎	昭和24年3月29日～昭和29年11月15日
2	中 村 松 次 郎	昭和29年11月16日～昭和36年3月31日
3	竹 内 鉄 雄	昭和36年4月15日～昭和43年3月31日
4	富 山 光 三	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日
5	倉 谷 徳 助	昭和47年4月1日～昭和50年3月31日
6	松 村 佳 美	昭和50年4月4日～昭和53年3月31日
7	渡 邊 靖 三	昭和53年4月5日～昭和58年9月30日
8	山 口 博	昭和58年10月1日～平成2年3月31日
9	島 村 隆	平成2年4月2日～平成8年3月31日
10	小 山 佳 志	平成8年4月1日～平成11年3月31日
11	星 合 隆 毅	平成11年4月3日～平成15年3月31日
12	鈴 木 史 郎	平成15年4月1日～平成18年3月31日
13	北 川 保 之	平成18年4月1日～平成22年3月31日
14	川 北 悟 司	平成22年4月1日～現在



# 総務

## 一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	3, 190, 271, 000 円(市予算 3. 2%)
一 般 会 計 総 予 算	99, 141, 000, 000 円
消 防 職 員 定 数	320 人以内
市 職 員 定 数	2, 849 人以内
人 口 (委託2町含む)	337, 451 人

人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区 27, 340 人

人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区 3, 435 人

消 防 車 両 等(四日市市)

(常 備) はしご自動車	1台
屈折はしご自動車	1台
化学消防自動車	3台
水槽付ポンプ自動車	7台
消防ポンプ自動車	8台 (救助工作機能付1台含む)
消防ポンプ付給水車	1台
高所放水車	2台 (はしご車兼用1台含む)
泡原液搬送車	2台
救助工作車	2台
高規格救急自動車	12台
その他車両	39台

(非常備)

消防ポンプ自動車	25台
水槽付ポンプ自動車	1台
可搬式ポンプ積載車	1台
資機材搬送車	2台

参 考(受託2町非常備)

(朝日町) 消防ポンプ自動車	1台
可搬式ポンプ積載車	4台
小型動力ポンプ	1台
(川越町) 消防ポンプ自動車	1台
可搬式ポンプ積載車	11台

平成21年度・22年度消防費歳出予算(当初額)

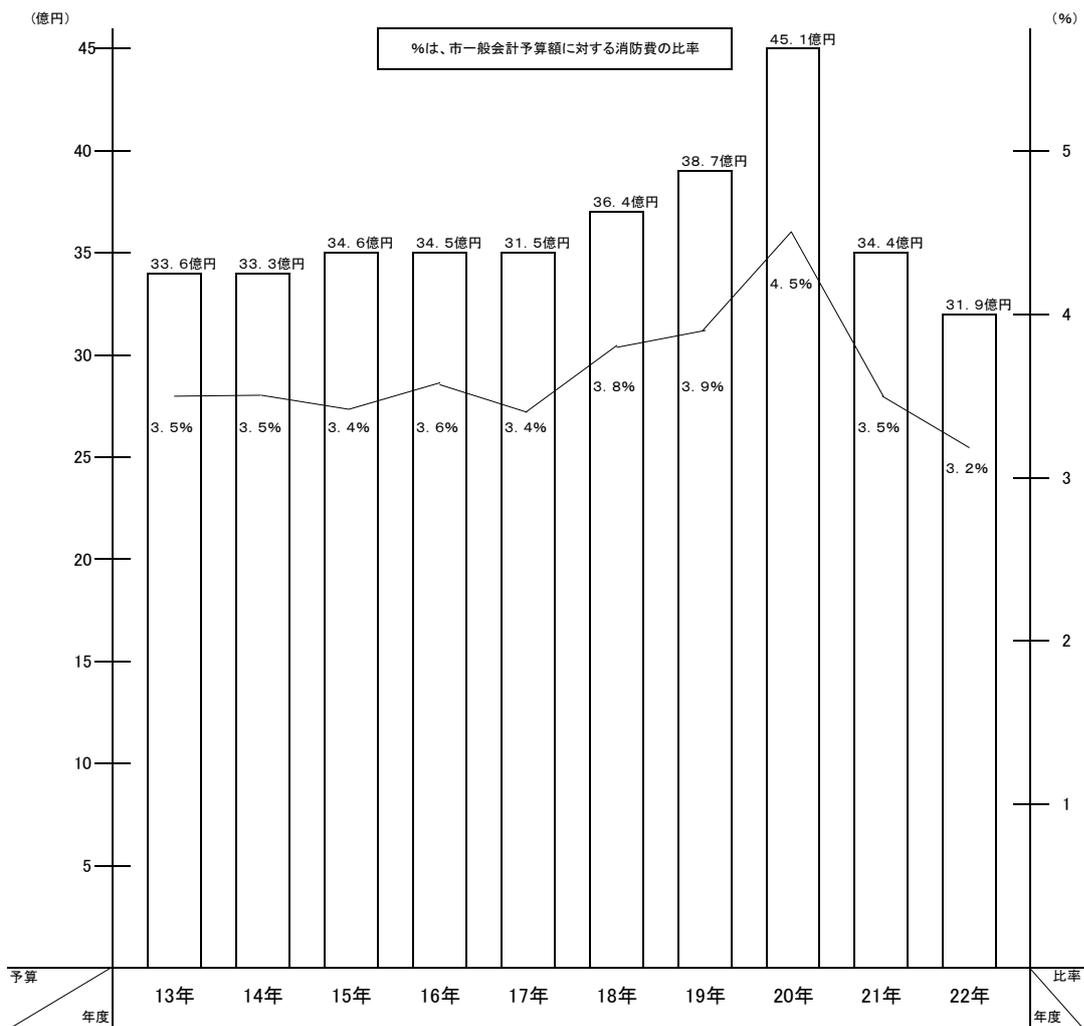
款 項 目	節	平成21年度	平成22年度	比較増△減
消 防 費		3,446,055	3,190,271	△ 255,784
消 防 費		3,446,055	3,190,271	△ 255,784
常備消防費		2,925,643	2,878,352	△ 47,291
	給 料	1,176,686	1,168,567	△ 8,119
	職 員 手 当	1,103,909	1,013,455	△ 90,454
	共済費	337,616	389,584	51,968
	賃金	1,260	1,253	△ 7
	報償費	33,438	21,311	△ 12,127
	旅費	7,343	7,536	193
	交際費	50	0	△ 50
	需用費	97,713	89,392	△ 8,321
	役務費	10,602	8,436	△ 2,166
	委託料	82,053	78,427	△ 3,626
	使用料及び賃借料	13,289	9,561	△ 3,728
	工事請負費	1,000	300	△ 700
	原材料費	300	133	△ 167
	備品購入費	10,109	3,462	△ 6,647
	負担金補助及び交付	32,729	69,389	36,660
	補償補填及び賠償金	17,501	17,501	0
	公課金	45	45	0
非常備消防費		133,082	135,710	2,628
	報酬	16,004	17,533	1,529
	共済費	1,002	1,178	176
	災害補償費	2,100	2,000	△ 100
	報償費	8,892	7,704	△ 1,188
	旅費	59,082	70,056	10,974
	交際費	50	0	△ 50
	需用費	12,887	10,432	△ 2,455
	役務費	8	244	236
	委託料	1,615	1,471	△ 144
	使用料及び賃借料	1,448	951	△ 497
	備品購入費	10,723	3,191	△ 7,532
	負担金補助及び交付金	19,270	20,949	1,679
	補償補填及び賠償金	1	1	0
消防施設費		384,572	175,149	△ 209,423
	需用費			0
	役務費		614	614
	委託料	2,800	534	△ 2,266
	使用料及び賃借料			0
	工事請負費	39,800	24,746	△ 15,054
	原材料費			0
	備品購入費	301,975	149,255	△ 152,720
	負担金補助及び交付金	39,997	0	△ 39,997
水防費		2,758	1,060	△ 1,698
	報償費			0
	旅費			0
	需用費	513	400	△ 113
	委託料			0
	工事請負費	1,488	0	△ 1,488
	原材料費	757	660	△ 97
	備品購入費			0
	負担金補助及び交付金			0

## 消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
平成18年度	3,368,352	310,710	120,273	10,840	28,005
平成19年度	3,654,746	311,904	122,284	11,717	29,887
平成20年度	4,507,797	313,495	124,587	14,379	36,182
平成21年度	3,443,297	313,963	126,231	10,967	27,278
平成22年度	3,189,211	313,890	127,082	10,160	25,096

※ 三重郡朝日町、川越町の消防事務受託関係を除く。

## 過去10年間の消防費の推移





階級別・所属別消防職員配置状況

(平成22年4月1日)

階級別		合	消	消	消	消	消	消	消	消	消	事
所属別		計	防	防	防	防	防	防	防	防	防	務
			正	監	司	司	司	士	副	士	士	吏
			監	監	令	令	長	長	士	長	長	員
合計		321(31)(8)(12)②	1	2(2)	17(1)	26(2)	78(2)	97(1)<6>③			99(5)<5>	1(1)
消防本部	消防長	1	1									
	次長	2		2								
	政策推進監兼同和行政推進監	1			1							
	総務課	小計	17(1)(8)(1)①		[1]	1	3(2)	3	4(1)①		5(5)	1(1)
		課長	[1]		[1]							
		課長補佐	1			1						
		総務課付	8(8)				2(2)		1(1)		5(5)	
		総務係	5(1)				1	1	2			1(1)
		装備係	3					2	1			
		課員	①						①			
	消防救急課	小計	22①			1	2	7①	9		3	
		課長	1			1						
		課長補佐	1				1					
		警防係	15					6	7		2	
		地域安全係	5				1	1	2		1	
	警防専門官	④					①					
	防災センター	小計	③						①			
		所長	①						①			
		副署長										
	予保安課	小計	15(1)①			1	2(1)	3	8①		1	
		課長	1			1						
		課長補佐	1				1					
		予防係	4					2	2			
保安係		4(1)				[1]		3		1		
安全指導係	5①				1	1	3①					
情報指令課	小計	15			3	1	6	5				
	課長	1			1							
	課長補佐	3			2	1						
	指令係	11					6	5				
消防中隊	小計	108(2)(7)②		[1]	4(1)	7	24	32(3)①		41(4)		
	計	59(2)(4)②		[1]	[1]	6	12	16(1)①		25(3)		
	署長	[1]		[1]								
	副署長	[1]		[1]								
	指導係	4(1)				1	1			2(1)		
	消防救助係	44				3	9	12		20		
	救急係	11(3)				2	2	4(1)		3(2)		
	防災指導員	①						①				
	防災指導員(現地要員)	①										
	計	31(3)			2		6	10(2)		13(1)		
	中央分署											
	分署長	1			1							
	副署長	1			1							
	分署員	29(3)					6	10(2)		13(1)		
	計	16			1		6	6		3		
	西分署											
	分署長	1			1							
副署長												
分署員	15					6	6		3			
港分署												
計	2			1	1							
分署長	1			1								
分署員	1											
消防北本署	小計	77(3)②			3	6	20	21(2)		27(1)		
	計	58(3)②			2	5	14	14(2)		23(1)		
	署長	1			1							
	副署長	1			1							
	指導係	4				1	2			1		
	消防係	40(1)				3	7	10		20(1)		
	救急係	12(2)				1	5	4(2)		2		
	防災指導員(現地要員)	②										
	計	19			1	1	6	7		4		
	朝川分署											
分署長	1			1								
副分署長	0											
指導係	2				1				1			
消防係	16					6	7		3			
小計	58(1)②			2	5	12	17(1)		22			
消防南本署	署長	1			1							
	副署長	1			1							
	指導係	4(1)				1	1	1(1)		1		
	消防係	40				3	8	12		17		
	救急係	12				1	3	4		4		
防災指導員(現地要員)	②											
市長部局へ出向		5			1		3	1				

( )は派遣職員及び消防学校入校予定職員、< >は女性消防吏員をそれぞれ内数で表し、[ ]は兼務である  
○数字は再任用職員及び嘱託職員数

# 消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成22年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	321	1	2	17	26	78	97	0	99	1
18	0									
19	2								2	
20	2								2	
21	1								1	
22	5								5	
23	7								7	
24	8								8	
25	16								16	
26	16						2		14	
27	17						1		16	
28	17						4		13	
29	8						3		5	
30	10						7		3	
31	9						7		2	
32	5						5			
33	10					1	7		2	
34	11					3	7		1	
35	7					3	4			
36	8					4	4			
37	9					6	2		1	
38	11					5	6			
39	12					6	5		1	
40	8				1	3	4			
41	11					1	10			
42	12				1	4	7			
43	4					1	3			
44	5				2	3				
45	8				6		2			
46	5				1	2	2			
47	3				1		2			
48	8				5	2	1			
49	8			2	2	3	1			
50	2					2				
51	9			4	2	3				
52	5			3	1		1			
53	12			4		8				
54	4			2		2				
55	8		1		1	6				
56	5		1	1	1	2				
57	3			1	1	1				
58	6					5				1
59	4	1			1	2				
60	0									
61	0									
62	0									

(※ 出向職員含む)

平均年齢      37.6 歳

# 消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

(平成22年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	321	1	2	17	26	78	97	0	99	1
0～1	6	1							5	
1～2	18								18	
2～3	28								28	
3～4	21								20	1
4～5	13						3		10	
5～6	13						4		9	
6～7	8						7		1	
7～8	7						6		1	
8～9	9						7		2	
9～10	7						7			
10～11	7					1	5		1	
11～12	4					2	2			
12～13	14					4	8		2	
13～14	4					1	2		1	
14～15	11					1	10			
15～16	7					5	2			
16～17	6					4	2			
17～18	12					7	5			
18～19	27				2	10	15			
19～20	5					2	2		1	
20～21	4				1	2	1			
21～22	3					2	1			
22～23	0									
23～24	8				3	2	3			
24～25	2				1		1			
25～26	0									
26～27	3			1	2					
27～28	7			2	3		2			
28～29	11			2	3	4	2			
29～30	10			1	3	6				
30～31	13		1	2	4	6				
31～32	8			4		4				
32～33	4					4				
33～34	5			3	1	1				
34～35	4			2		2				
35～36	2				1	1				
36～37	0									
37～38	1					1				
38～39	2		1		1					
39～40	0									
40～41	5				1	4				
41～42	2					2				

(※ 出向職員含む)

平均勤続年数

15.6年

## 消 防 車 両 配 置 状 況

(平成22年4月1日現在)

区分		所 属 別											合計	消防団
		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	西南出張所	防災教育センター		
消 防 車	消防ポンプ自動車	-	1	2	-	-	1	-	1	2	1	-	8	25
	水槽付ポンプ自動車	-	1	1	2	-	1	1	-	1	-	-	7	1
	化学消防自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3	
	消防ポンプ付給水車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	屈折はしご自動車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	消防ポンプ積載車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1
	高規格救急自動車	-	3	1	1	-	2	1	1	2	1	-	12	
そ の 他 の 車 両	指揮車	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	4	
	指揮支援車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水難救助車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液運搬車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	4	2
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	立入検査車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	広報車	5	1	1	1	1	1	1	-	2	-	2	15	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	5	
	救急普及啓発車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	乗用車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
合計		15	15	7	5	1	12	4	2	13	2	2	78	29

## 消防用資機材配置状況

(平成22年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
空気呼吸器		38	12	11		27	17	20	125
酸素呼吸器		5				7			12
エンジンカッター		1	1	2		2	1	2	9
高発泡器		1				2		1	4
大容量泡放射砲(1S)		1				1		1	3
可搬式放水銃		5	1	2		2	1	2	13
耐熱服		6				3		6	15
ガス測定器	1	5	1	1		3	1	3	15
各種測定器	4	1				1		3	9
救命ボート		3	1			1		1	6
油圧切断機		3		1		2		1	7
チェーンソー		2	1			3	1	1	8
ボートパワー		1		1		1			3
救命索発射銃		1		1		2	1	1	6
ガス溶断器		1				2	1	1	5
発動発電機		7	1	3	2	7	2	3	25
排送風機		2	1	2	1	4	1	1	12
エアソー		2	1	1		2		1	7
救助幕		2				2		1	5
油圧スプレッター		2		1		1		1	5
マット型空気ジャッキ		7		1		7		2	17
削岩機		1				2		1	4
耐電衣		5				5		3	13
防毒衣		4				2		10	16
マンホール救助器具		2				2		1	5
高度救助用資機材									
画像探索機 1型		1				1			2
画像探索機 2型		1				1			2
熱画像直視装置		1	1			1		1	4
地中音響探知機		1							1
夜間用暗視装置		2							2
エアラインマスク		1							1
地震警報器		1				1			2
オイルフェンス	10								10
潜水器具						22			22
高圧空気充てん機		1				1			2

## 救急用資機材配置状況

(平成22年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
AED	1	5	3	3	1	6	2	5	26
AEDトレーナー	3	6	1	2		6	2	6	26
レサシ 大人	6	6	1	3		10	4	6	36
小児	1	1	4	2		2	1	2	13
幼児	1	1	4	1		2	1	1	11
レサシ リトルアン		3	4	1		2	2	4	16

職員研修実施状況

平成21年度

派遣研修

派遣先	研修科目	研修期間	受講者数
消防大学校	救助科	4/8-6/4	1
	幹部科	8/26-10/15	1
	高度救助コース	3/2-3/12	1
三重県消防学校	初任科 (46期)	4/7-12/4	18
	救急科救急課程 (11期)	10/1-11/26	18
	警防科警防課程 (21期)	3/1-12	3
	火災調査科火災調査課程 (13期)	12/9-22	2
	救助科水難救助課程 (9期)	5/25-6/5	2
	救助科救助課程 (19期)	10/5-11/5	4
	水難救助課程指導者養成講習	6/25、7/9、8/26、9/24	1
	特殊災害科特殊災害課程 (3期)	2/1-9	3
	初級幹部科 (31期)	1/18-29	3
	中級幹部科 (18期)	3/3-11	3
	上級幹部科 (3期)	12/7-9	2
	薬剤投与講習	1/7-2/12	4
救急救命士養成所	救急救命東京研修所 新規養成	4/2-10/15	2
	救急救命東京研修所 新規養成	9/8-3/23	1
	名古屋市救急救命養成所 新規養成	9/3-3/26	2
全国市町村アカデミー	法務実務A～法務の基礎と実務～	11/16-20	1
	防災と危機管理～住民視点での実践力の向上～	2/16-24	1
国際文化研修所	住民視点での災害対応～減災と復興～	6/17-19	3
	マーケティング戦略の基本	6/9-11	1
	事例で学ぶ人事制度改革と自治体経営	8/24-28	1
	組織マネジメント	10/14-16	1
四日市市	準管理職候補者研修	9/9-10	2
	管理職候補者研修	4/30-8/25	4
	新任課長級職員研修	4/14-5/28	5
	新所属長職員研修	5/28-11/2	5
	政策法務研修	2/22	3
	北勢4市合同研修	11/17	1
	危機管理研修	8/25	3
	自治会館組合「話し方講座」	9/25-26、10/1-2	7
	自治会館組合「プレゼンテーション研修」	10/20-21	1
	トレンドセミナー	10/16	1
全国消防長会/消防協会 東海支部が 主催する講習会	火災調査研究発表会	1/25	4
	消防長研修会	9/3	1
	違反是正研究会	11/11	5
	企業防災対策指導者研修会	2/15	3
	鉄道災害事故救助講習会	11/14	2
	救急コ・メディカルセミナー	11/12	4
	総務関係実務研修会	10/23	1
	消防救助セミナー	2/5	4
三重県消防長会が 関係する研修	違反是正研修会	8/11	6
	違反是正に関する事例演習会	2/5	3
	JPTECプロバイダーコース	12/11	2
	スタティックロープレスキューセミナー	11/17-18	3
	消防長研修会	8/28	6
資格取得研修	大型自動車運転免許 (新規)	5/15-取得まで	9
	潜水士免許 (新規)	6/11-12、7/7	3
	2級小型船舶操縦士免許 (新規)	6/15-16、6/22-23	2
	2級小型船舶操縦士免許 (更新講習)	7/12	5
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任講習 (新規)	11/4-6	2
	小型移動式クレーン運転技能講習 (新規)	10/6-7、10/10	3
	ガス溶接 (新規)	1/15-16	1
	予防技術資格者 (新規)	3/7	7
消防本部研修	新規採用職員研修	4/1-6、5/1、9/11	18
	救急救命士就業前病院研修	4/6-6/5	3
	救急救命士気管挿管病院実習	10/1- 11/1-	2
	救急救命士薬剤投与病院実習	2/22-3/24	4
	救急科救急課程修了後病院研修	12/14- 16	18
	救急救命士救急用自動車同乗研修	8/4 2/2	3
	昇任予定者研修	3/3	24
視察研修	先進都市視察		
	昭和シェル石油(株) ステップアップコース	6/16-18	1
	USAR、D-MAT合同研修会	6/29-30	4
	横浜市安全管理局・横須賀市消防局視察	7/15	2
	TRRロープレスキュー テクニシャンコース	9/28-10/1	1
	さいたま市消防局・消防大学校	10/5-6	2
	東京消防庁・千葉市消防局・横浜市安全管理局	10/29-30	2
その他機関	危険物セミナー		
	事故防止対策セミナー	10/30	1
	危険物保安技術講習会	7/2-3	1
	事故事例セミナー	3/4	1
	屋外タンク実務担当者講習会	10/30	1

# 消防プリセプターシッププログラム

## プリセプター研修の必要性

四日市市消防本部では、団塊世代の退職により、平成21年度までの5年間で91名の職員が入れ替わります。経験の浅い職員の増加によって、消防行政の質が低下することはあってはなりません。新人職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高いサービス提供の維持・向上を図るため、新人教育体制の確立及びカリキュラムが必要になります。

他の業種では、看護職場が1990年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れ実践しています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です。「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成20年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

## 消防プリセプターシッププログラム策定の目的

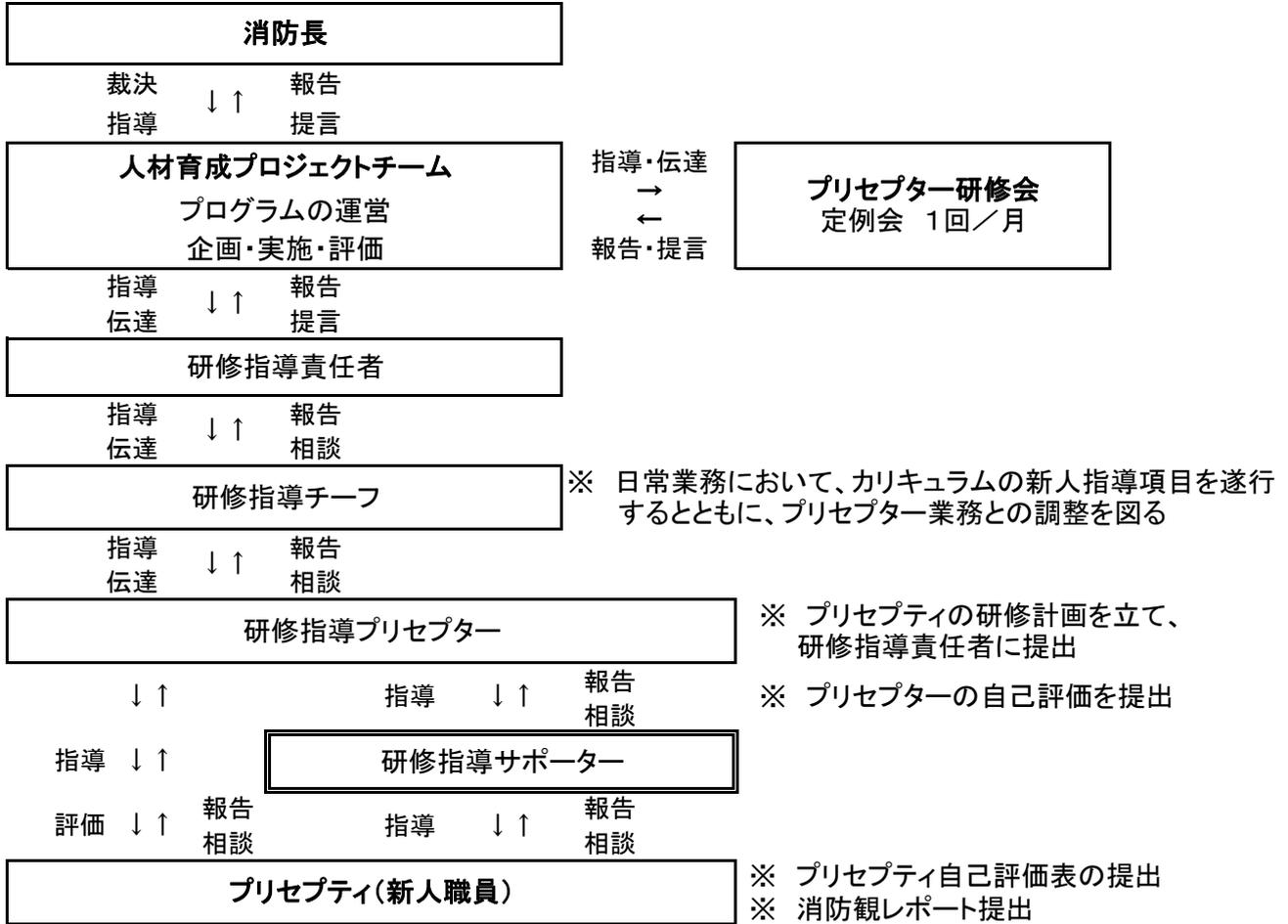
- 1 消防学校を卒業した新人消防士(プリセプティ)に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適應することができるよう促す。
- 2 消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
- 3 警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

## 消防プリセプターシッププログラム運営の方法

- 1 目的の1、2については、プリセプターシップ研修プログラムを用いて、目的の達成を図る。
- 2 目的の3については、別添分野別指導カリキュラムを用いて、職場全体で取り組む。

# プログラムの管理運営

- 1 プログラムの管理責任 消防長
- 2 プログラムの管理運営体制



## 3 プログラムの運営

### 「人材育成プロジェクトチーム」

#### 1) 構成

責任者 総務課長  
委員長 政策推進監

#### 2) 機能

- ① 研修プログラムの運営(企画・実施・評価)を行う。
- ② 消防長に対して、プリセプターシップ研修プログラムに関する報告・提言を行うとともに、プログラム案に対して決裁および指導を受ける。
- ③ 研修部署の指導責任者およびプリセプター研修会に対して、指導・伝達を行う。
- ④ プリセプター研究会(隔月1回)が、自主的・効果的に運営されるよう指導する。
- ⑤ 研修部署から提出されたプリセプター評価表および指導観レポート等に基づき、研修目標に対する達成度を評価する。
- ⑥ 研修プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

## 4 各部署の指導体制

別添新人職員人材育成体制のとおり

## 消防プリセプターシップ 新人職員人材育成体制

区分	役割・機能	備考
人材育成の責任者	消防長	
人材育成の運営	人材育成プロジェクトチーム	
人材育成計画・実施・評価		
研修指導責任者	所属長	
研修指導チーフ	係長	プリセプターの相談にのり、助言・指導する。
	新人職員が属する係の係長	
研修指導プリセプター	新人職員が属する係の消防士長以上で、所属長が指名する	プリセプティーに対する研修指導担当で、プリセプティー一人に対し、プリセプター一人の体制を原則とする。
研修指導サポーター	新人職員が属する係の採用2年目以上の職員	プリセプティーに対する研修支援・補助者
受講者	採用1年目の職員	
研修指導期間	消防学校卒業後、各所属に配属された12月から翌年の11月までの1年間	
研修指導内容	新人職員指導カリキュラム	
プリセプター養成研修	消防士長以上受講	プリセプターは必ずプリセプター養成研修を受講
プリセプターフォローアップ研修	12月から毎月実施、4月以降隔月開催	プリセプター・プリセプティー・チーフ・所属長

## 平成21年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
21	4	7	<b>初任科生入校</b> 於:三重県消防学校 第46期生 18名が入校、12月4日卒業。	10	<b>三重県消防職員意見発表会</b> 於:多気郡大台町
	5	11	<b>市民防災隊連絡協議会総会</b>	8	<b>近畿府県合同防災訓練(第1回全体会議)</b>
	12.13		<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理新規講習105名、乙種防火管理講習8名が受講	15	<b>三重県総合防災訓練(第1回全体会議)</b>
	14		<b>防災管理講習</b> 防災管理新規講習16名が受講	19	<b>三重県内高速道路消防連絡協議会(全体会議)</b>
	22		<b>防火協会総会</b>	25	<b>第1回 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会</b> 於:中消防署中央分署
	6	1~30	<b>危険物安全管理強調月間</b> 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立ち入り検査及び消防訓練を実施	25	<b>消防安全衛生委員会</b>
		3~	<b>各地区の自治会等で地区訓練を実施</b>	26	<b>三重県消防長会警防担当課長会議</b>
		18	<b>優良危険物事業所表彰</b> 平成21年度優良危険物事業所の4事業所を消防長表彰		
	23.24.25		<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理再講習13名、甲種防火管理新規講習106名が受講		
	7	6	<b>安全衛生講演会</b> 『消防職員の安全衛生の現況・健康状況について』(財)地方公務員安全推進協会 『消防職員の現場活動にかかるストレス対～惨事ストレスとその対応方法について～ 筑波大学教育研究科 教授・文学博士 松井 豊 氏	10	<b>近畿府県合同防災訓練(第2回全体会議)</b>
		19	<b>第46回消防団消防操法競技大会及び防災フェスタ</b> 於:中央緑地公園 24分団が出場し競技を実施 第1位: 橋北分団 第2位: 海上分団 第3位: 川島分団	13	<b>第37回消防救助技術東海地区指導会審査員会議</b>
				17	<b>三重県総合防災訓練(第2回全体会議)</b>
				30	<b>第38回消防救助技術東海地区指導会</b> 於:三重県消防学校 6種目19名が出場
	8			6	<b>三重県内高速道路消防連絡協議会(訓練)</b> 於:伊勢湾岸自動車道みえ川越IC
				20	<b>第38回全国消防救助技術指導会</b> 於:横浜市
				26	<b>消防職員委員会</b>
				28	<b>消防長研修会「産業防災と官学連携について」</b> 於:亀山市消防本部
	9			1	<b>石油コンビナート防災訓練(東ソー株)</b>

				11 近畿府県合同防災訓練(第3回全体会議)
				18 消防安全衛生委員会
10	21.22	<b>第19回全国女性消防操法大会</b> 於:神奈川県横浜市横浜市消防訓練センター		6 三重県総合防災訓練(第3回全体会議)
	28.29	<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理新規講習124名、乙種防火管理講習26名が受講		8 三重県警防技術交換会 於:三重県消防学校
11	9~15	<b>秋の火災予防運動</b>		17.18 緊急消防援助隊近畿ブロック訓練 於:福井県福井市
	12	<b>特別消防訓練</b> 於:県立総合医療センター		6.7 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 於:富山県射水市
	14	<b>防火ポスター・防火習字の入選者の表彰</b> 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、入選者の表彰式を実施。		12 救急コ・メディカル 於:名古屋市
12	12	<b>縣市合同総合防災訓練</b> 於:霞一丁目 東ソー(株)所有地		14 四日市市消防支援隊研修会
	29~30	<b>年末特別警戒</b>		25 三重県総合防災訓練(第4回全体会議)
22	1	10 <b>平成22年消防出初式</b> 於:四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため実施		10 朝日町・川越町合同出初式 於:川越町
	26	<b>第54回文化財防火デー</b> 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため管内一円で消防訓練や立入検査等を実施		22 三重県内高速道路消防連絡協議会(研修会) 於:県消防学校
2	16.17.18	<b>防火管理講習</b> 甲種防火管理再講習24名、甲種防火管理新規講習122名、乙種防火管理講習16名が受		5 第2回 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会 於:中消防署中央分署
	22	<b>特別消防訓練</b> 於:中部近鉄百貨店		
3	1~7	<b>春の火災予防運動</b>		9.12.19 警防技術競練会

## 平成22年度消防重点事業

### 1. 8分消防5分救急体制の早期実現事業

「8分消防5分救急体制」の早期実現を目標に、1秒でも早く災害現場に到着して、消火・救急・救助活動にあたることを最優先に掲げ、施設装備等の充実に努めている。

今後、中央分署開署後2年目や北西・西南出張所に消防車を配備したことによる消防車・救急車の現場到着時間の実態を調査して、現場到着時間が遅れている地域の把握・改善を図る。その後、消防拠点及び道路整備状況を検討し、消防車・救急車の現場到着までの所要時間短縮を図り、延焼拡大防止及び救命率向上を図る。

### 2 救急業務高度化事業

平成4年度から救急救命士の養成を開始し、44名（H22.4.1現在）の救急救命士を各消防署等に配置している。将来的に全ての救急車に常時1名以上の配置体制を図るため、21年度に引き続き、5名の職員を救急救命士養成所へ派遣する。また、救急救命士が資格取得後の知識・技術を維持、向上するため、再教育カリキュラムにより病院実習等を実施する。さらに、三重県救急搬送・医療連携協議会で策定する救急搬送・病院受入実施基準について、積極的に参加する等、早期に適正な処置を行い、早期に適正な病院に搬送できるよう救急業務を推進する。

### 3 大規模災害対策事業

災害に強いまちづくりのため、訓練を通じて自主防災組織の自主的な取組みの支援を行うとともに、大規模地震発生時の消防水利確保のため耐震性貯水槽を2基設置し、消防水利の二重化を図り火災の延焼拡大防止に万全を期す。また、消防職団員OBの組織化を更に進めて地域における総合防災力を高める。さらに、緊急消防援助隊が大規模災害時に有効に機能するよう県内あるいは県域をこえた合同訓練に積極的に参加し、広域応援体制に万全を期す。

### 4. 消防車両・活動機器整備事業

平成4年度配備の北消防署の化学消防自動車を更新、平成16年度配備の中消防署と北消防署の高規格救急車を更新する。

また消防団については、平成7年配備の桜分団と塩浜分団の消防ポンプ自動車を更新する。

### 5. 消防救急無線デジタル化整備事業

平成28年5月に使用期限を迎える消防救急アナログ無線をデジタル化に整備するため、平成21年度に県内消防機関が共同で設置した基本設計実施協議会において、基本設計を策定する。

# 相互応援協定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

## (1) 消防相互応援協定

協定名	締結年月日	協定市町村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町村長、5消防組合管理者及び三重県知事

## (2) 船舶消防に関する応援協定

協定名	締結年月日	協定市町村
船舶に関する業務協定	昭和46年5月24日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

## (3) 高速道路における消防応援協定

	締結年月日	協定市町村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋・関線、名古屋・神戸線、伊勢線及び尾鷲勢和線にかかる消防相互応援協定	平成20年2月23日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合

警

防

# 一 目 統 計

平成 2 1 年 中

火 災 件 数 1 1 9 件

損 害 額 1 9 2, 8 1 9 千円

出 火 率 3. 5  
【平成 2 1 年 1 月 1 日 現在で川越・朝日を含む 3 3 7, 7 3 8 人で算出】

建 物 焼 損 床 面 積 2, 2 8 7 m<sup>2</sup>

建 物 焼 損 表 面 積 4 5 1 m<sup>2</sup>

最 も 多 か っ た 火 災 原 因 放 火 ( 疑 い 含 む ) 2 9 件

火 災 種 別 件 数

建 物 火 災 6 3 件

林 野 火 災 5 件

車 両 火 災 1 5 件

船 舶 火 災 0 件

そ の 他 火 災 3 6 件  
( 3 6 件 中 枯 草 火 災 8 件 )

火 災 多 い 少 な い

火 災 の 多 か っ た 月 3 月 1 8 件

火 災 の 少 な か っ た 月 1 0 月 1 件

火 災 の 多 か っ た 時 間 帯 1 8 時 ~ 1 9 時 9 件

火 災 の 少 な か っ た 時 間 帯 0 時 ~ 1 時 ・ 2 1 時 ~ 2 2 時 1 件

火 災 の 一 番 多 か っ た 日 4 月 1 6 日 4 件

## 平成21年中の火災概要

### 1 火災の概要

平成21年中の火災は、119件で昨年の111件と比較して8件の増となり、詳細は建物火災が4件、車両火災が2件及び船舶火災が1件それぞれ減となり、林野火災が5件及びその他火災が10件のそれぞれ増となった。また、その他火災の内、枯草火災は1件の増となった。

火災種別では、建物火災が63件と全火災の52.9%を占め、車両火災が15件で12.6%、林野火災が5件で4.2%、その他火災が36件で30.3%となった。その他火災の内、枯草火災は8件となった。

火災の損害は、焼損床面積が2,287㎡、焼損棟数が80棟、損害額が約1億9,282万円、死者が7人、負傷者が15人となった。

損害額は、前年の2億3,106万円と比較して3,824万円の減少となった。

焼損床面積も、前年の1,598㎡と比較して増加となった。

出火率（人口1万人当たりの出火件数をいう。）は、3.5で、前年より0.2の増加となった。

月別発生状況は、3月が18件と最も多く、次いで1月が17件となった。一方、10月が1件と最も少なかった。

### 2 出火原因

出火原因は、放火（放火の疑いを含む。以下同じ。）が29件と全体の24.4%を占め、昨年に引き続き出火原因の第1位である。続いて、こんろが13件で10.9%、たばこが8件で6.7%、たき火が6件で5.0%となった。

### 3 火災による死者

火災による死者は、7件の火災で7人発生し、前年より6人の減少となった。

死者の発生した経過別では、放火自殺によるものが3人、逃げ遅れによるものが1人で、その他が3人となった。

また、年齢別では、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代がそれぞれ1人、80歳代が3人となった。

### 4 火災による負傷者

火災による負傷者は、14件の火災で15人発生し、前年の15人と同数であった。

また、年齢別では、30歳代が2人、40歳代が0人、50歳代が4人、60歳代が6人、70歳代が1人、80歳代が2人となった。

負傷者の発生した経過別では、初期消火中が7人、避難中が2人、作業中が2人、就寝中が1人、その他が3人となった。

### 5 初期消火の実施

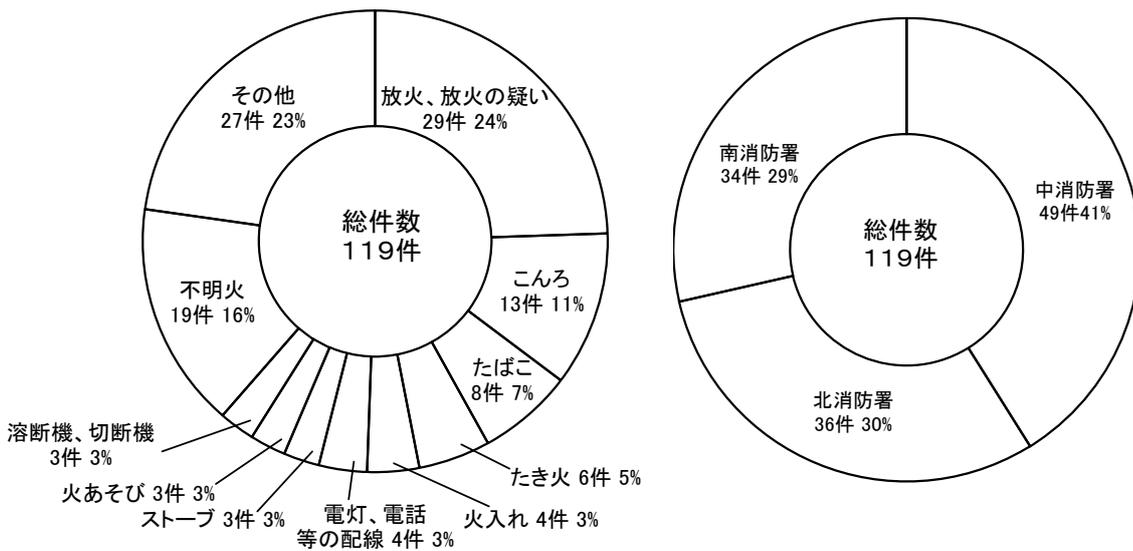
119件の火災において77件の初期消火が実施され、成功かつ効果ありは40件となっており、昨年からはほぼ横ばいである。初期消火は定着してきているが、今後もより効果的な初期消火が必要である。

初期消火器具	消火器	水道ホース	濡れタオル等	もみ消した	その他
実施件数	26	29	3	3	16
成功・効果あり	16	15	1	2	6

# 火 災 概 要

(平成21年中)

火 災 件 数	119 件
建 物 火 災 件 数	63 件
建 物 以 外 火 災 件 数	56 件
建 物 焼 損 床 面 積	2,287 m <sup>2</sup>
建 物 焼 損 表 面 積	451 m <sup>2</sup>
林 野 焼 損 面 積	21a
損 害 額	192,819千円
死 者	7 人
30日 死 者	0 人
負 傷 者	15 人

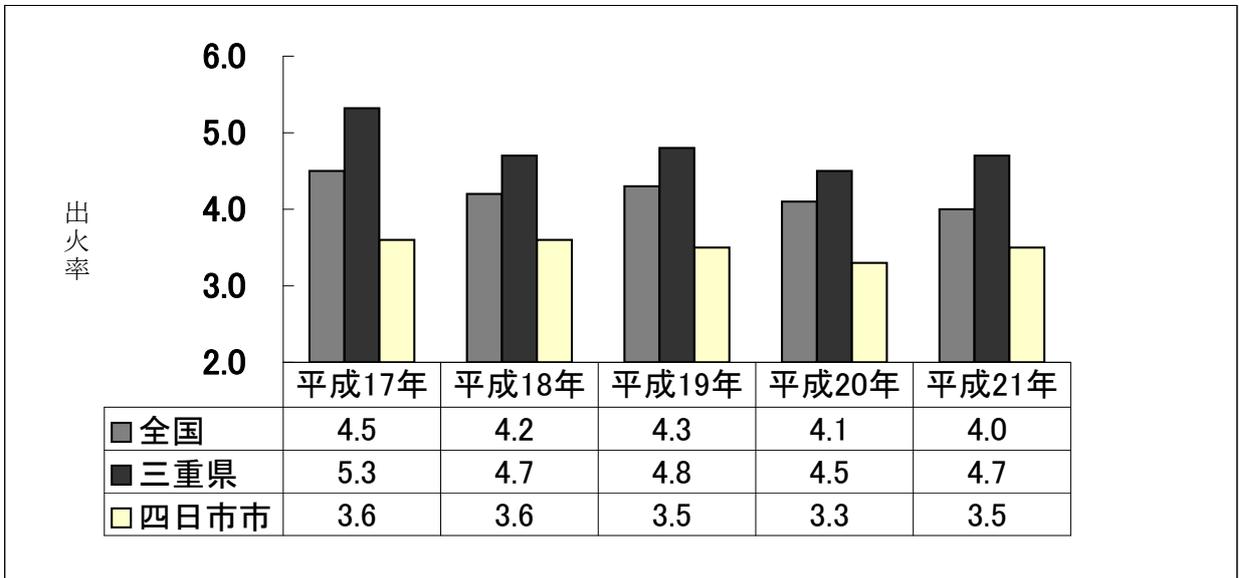


## 火 災 発 生 状 況 比 較

区 分	年 別	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
	全 国	火 災 件 数	57,487	53,260	54,579	52,394
出 火 率		4.5	4.2	4.3	4.1	4.0
一件当たり損害額 (千円)		2,741	2,189	2,298	2,069	1,821
三 重 県	火 災 件 数	989	892	889	829	863
	出 火 率	5.3	4.7	4.8	4.5	4.7
	一件当たり損害額 (千円)	1,681	2,340	2,754	2,741	1,643
四日市市 (朝日、 川越町含)	火 災 件 数	118	119	118	111	119
	出 火 率	3.6	3.6	3.5	3.3	3.5
	一件当たり損害額 (千円)	2,104	7,837	7,148	2,081	1,620

$$\text{出火率} = \frac{\text{出火件数}}{\text{人口}} \times 10,000$$

## 出 火 率 比 較



地区別火災発生状況

(平成21年中)

火災状況 地区別	火災件数								焼損棟数								り災世帯数				焼損面積			死傷者			損害額 (千円)											
	建物	屋外							計	火元				類焼				全損	半損	小損	計	り災人員	建物焼損床面積 (㎡)	建物焼損表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	30日死者	負傷者	建物		船舶	航空機	車両	林野	その他	爆発	計	
		船舶	航空機	車両	林野	その他	その他(枯草)	全焼		半焼	部分焼	ぼや	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや												計	建造物								収容物
合計	63	0	0	15	5	28	8	119	10	3	20	29	62	4	1	9	4	18	8	2	34	44	120	2287	451	21	7	0	15	132194	54360	0	0	3434	0	2831	0	192819
中消防署管内	26	0	0	6	2	9	5	48	5	2	5	14	26	1	0	5	2	8	5	1	13	19	49	822	186	10	3	0	4	68576	24752	0	0	1228	0	1917	0	96473
共同	3			1		2		6				3	3					0			1	1	4						53	15			250		8		326	
同和	1							1	1			1				2		2	1		2	3	7	230	59			1	19627	301			5				19,933	
中央								0				0						0				0															0	
港	1					1		2			1		1					0				0		40				1	631	26					611		1,268	
浜田	7			1		1		9		1	1	5	7	1			1	2	1		2	3	8	46	42			1	15682	18333			20		6		34,041	
橋北				1		2		3					0					0				0											228		140		368	
海蔵	1							1			1		1					0			1	1	3		2			12	12							24		
常磐	4			1		2		7		1	1	2	4					0		1	1	2	2	98	1			17912	874			10		6		18,802		
川島	1			1			1	3				1	1					0			1	1	3					8	16			455		490		969		
神前	1			1	1		1	4	1				1					0	1			1	1	79	22	10	1	5896	52			260		2		6,210		
桜								0					0					0				0															0	
県	3							3	2			1	3			2	1	3	1		2	3	9	205	50		2		4379	4804					647		9,830	
三重	4				1	1	3	9	1		1	2	4			1		1	1		3	4	12	124	10			1	4376	319					7		4,702	
北消防署管内	21	0	0	4	2	7	2	36	1	0	11	8	20	2	0	4	0	6	0	1	15	16	37	823	91	6	2	0	6	19980	14995	0	0	983	0	823	0	36,781
羽津	1					1		2			1		1					0			1	1	5		2				15	39					60		114	
富田	3			2				5			2	1	3					0			3	3	5	10	3	1		1219	213			440				1,872		
富洲原	3							3			2	1	3					0		1	1	2	7	55	21		1	7083	1967							9,050		
大矢知	4					1		5	1		2	1	4					0			3	3	8	14			1	1235	166					91		1,492		
八郷	3			1	1	1	1	7			2		2	2	4			6			1	1	2	743	55	5		8387	12583			538		668		22,176		
下野	3				1			4			1	2	3					0			3	3	4	1	3	1		72	12							84		
保々								0					0					0				0															0	
朝日町	1			1		1		3				1	1					0			1	1	3		7			40	1			5		1		47		
川越町	3					3	1	7				3	3					0			2	2	3					1929	14					3		1,946		
南消防署管内	16	0	0	4	1	12	1	34	4	1	4	7	16	1	1	0	2	4	3	0	6	9	34	642	174	5	2	0	5	43638	14613	0	0	1035	0	91	0	59,377
塩浜	1			2		2		5			1	1						0				0										347		2		349		
日永				1		3		4					0					0				0										40		29		69		
四郷	3			1		1		5		1		2	3					0			1	1	6	101	1			11471	10212			360				22,043		
内部	2							2	1		1		2					0			1	1	5	53				509	1412							1,921		
河原田	2					2		4				2	2					0				0														1,003		
小山田	5				1	4		10	3		1	1	5	1	1		2	4	3		2	5	13	480	172	5	2	3	31343	1416			288		60		33,107	
水沢	1						1	2			1		1					0			1	1	5	6				70	509							579		
楠	2							2			1	1	2					0			1	1	5	2	1			245	61							306		
高速道路				1				1					0					0				0											188				188	

月別・曜日別・時間帯別火災発生状況

(平成21年中)

火災状況 月・曜日		出火件数						焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災	損害額 (千円)								
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(m <sup>2</sup> )	建物 表面積(m <sup>2</sup> )	林野 面積(a)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損	人員	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合	計	119	63	5	15		36	80	14	4	29	33	2,287	451	21	7	15	44	8	2	34	120	192,819	186,554		3,434			2,831		
月	1月	17	10		3		4	11	1		4	6	80	6		4	9			1	8	15	10,311	8,792		838			681		
	2月	10	4	1	1		4	7	1		3	3	230	70	5	1	4	5	1		4	10	20,565	20,020		543			2		
	3月	18	11		1		6	14	5	2	3	4	450	23		1	3	4	3		1	11	58,172	57,713		310			149		
	4月	14	6	1	2		5	8	1		2	5	22	42	1		1	1			1	6	1,834	827		505			502		
	5月	10	7		3		12	3			3	6	884	40		2	2	5	1		4	19	34,452	33,692		719			41		
	6月	6	2	1	2		1	4	1		1	2	195	45	10	2		3	1		2	2	9,876	9,092		137			647		
	7月	8	5		1		2	5			3	2	1	7				4			4	11	267	240		20			7		
	8月	6	3				3	3			1	2	30	1				2			1	4	6,328	6,328					17		
	9月	15	6	1	1		7	7	1	1	4	1	202	173				5	1		4	15	18,486	18,118		252			116		
	10月	1			1																			11			10			1	
	11月	4	2				2	2	1		1		81	22		1		2	1		1	6	6,367	6,250		100			17		
	12月	10	7	1			2	7		1	4	2	112	22	5		1	4			4	13	26,150	25,482					668		
不	明																					1									
合	計	119	63	5	15		36	80	14	4	29	33	2,287	451	21	7	15	44	8	2	34	120	192,819	186,554		3,434			2,831		
曜	日曜日	18	11	1			6	20	7	2	8	3	1,179	120	5	2	3	7	2	1	4	17	68,626	68,355		250			21		
	月曜日	21	12	1	3		5	15	3		6	6	384	52		2	2	10	2		8	32	20,985	19,891		352			742		
	火曜日	15	8		2		5	11	2	1	4	4	462	64			1	6	2		4	20	38,217	37,331		213			673		
	水曜日	18	10		2		6	11	2	1	3	5	183	25		1	3	6	2		4	18	49,336	48,810		426			100		
	木曜日	19	9	1	1		8	9			3	6	24		10	1	4	4			4	9	5,182	4,397		10			775		
	金曜日	8	4	1	2		1	4			2	2		11	1			4			4	7	737	209		520			8		
	土曜日	17	8	1	4		4	9			2	7	55	177	5		2	6			5	17	9,253	7,468		1,273			512		
	不	明	3	1		1		1	1		1			2		1		1			1	1	483	93		390					
合	計	119	63	5	15		36	80	14	4	29	33	2,287	451	21	7	15	44	8	2	34	120	192,819	186,554		3,434			2,831		
時	0～1時	1		1																											
	1～2時	3	2		1		7	2			4	1	242	111			1	3	1		2	7	20,843	20,296		543			4		
	2～3時	2	1				1	1																2						2	
	3～4時	3			1		2																							148	
	4～5時	4	2		2		3	1				2	145			1	1	3	1		2	6	11,710	11,273		396			41		
	5～6時	3	1		1		1	1				1												163	3		160				
	6～7時	2	2				2				1	1	13	1				2			2	2	1,211	1,211							
	7～8時	3	3				3				1	2	55	1		1	1	3		1	2	6	7,231	7,231							
	8～9時	5	4				1	4			2	2	11	1			1	3			3	10	2,143	2,143							
	9～10時	8	4		1		3	5	1	1	2	1	195	1			1	3	1		2	5	20,606	20,586		20					
	10～11時	6	5		1		1	4	1		2	1	87	23			3	3	1		2	13	36,646	36,646							
	11～12時	8	3		1		4	4		1	1	2	2	1			2	2			2	6	391	288		40			63		
	12～13時	6	2		1		3	2			1	1	6				1	2			2	1	853	603		250					
	13～14時	6	1	1	1		3	1							5.0	1	2	1			1	4	619			5			614		
	14～15時	8	3	1	1		3	3			2	1	4	7	1.0		1	1			1	3	1,914	1,633		188			93		
	15～16時	5	3	2			3				1	2		3	15.0			2			2	3	1,954	1,954							
	16～17時	6	3				3	4	1		2	1	50	5			1	4			1	4	766	758					8		
	17～18時	5	4				1	9	3		4	2	863	44				3	1		2	14	24,855	24,850					5		
	18～19時	9	6				3	6		1	1	4	101	3				3			3	6	21,894	21,889					5		
	19～20時	5	2		1		2	2			1	1		2				1			1	3	1,120	77		360			683		
	20～21時	3	1		1		1	1	1				2	163			1					6	1,672	727		455			490		
	21～22時	1	1				3	1		1	1	1	195	45		1		2	1		1	5	9,739	9,092					647		
	22～23時	7	5		1		1	5	1		2	2	109	29		1		3	1	1	1	8	12,636	12,300		328			8		
	23～0時	4	3		1		5	2		1		2	207	8		1		2	1		1	4	13,097	12,897		200					
不	明	6	2		1		3	2		1	1		3		1		1			1	4	509	97		392			20			

出火原因別火災発生概況

(平成21年中)

原因別	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)							
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	建物	林野	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
													床面積(m <sup>2</sup> )	表面積(m <sup>2</sup> )	面積(a)															
合計	119	63	5	15			36	80	14	4	29	33	2,287	451	21	7	15	44	8	2	34	120	192,819	186,554		3,434		2,831		
たばこ	8	6					2	6	1		3	2	142	23			1	5	1		4	11	9,393	9,200		100		93		
こんろ	13	13						13			5	8	4	15			3	12			12	40	779	779						
かまど																														
風呂かまど																														
炉																														
焼却炉	2	2						6	3		3		791	38			1				1	2	21,441	21,441						
ストーブ	3	3						4	1		3		115	1			2	3	1		2	7	7,509	7,509						
こたつ	1	1						1			1		55				1			1	1	7,188	7,188							
ボイラー																														
煙突・煙道																														
排気管	1			1																			188			188				
電気機器	2	2						2			1	1	1			1	1				1	5	830	830						
電気装置																														
電灯・電話	4	2		1			1	2			2		30	21			1			1	1	8,371	8,143		228					
等の配線																														
内燃機関																														
配線器具	1	1						1			1		1	2							1	2	34	34						
火あそび	3	1	1				1	1			1			3	1						1	2	30	30						
マッチ・ライター	2	2						2			1	1	10				1				1	4	539	539						
たき火	6		1	1			4																6			5		1		
溶接機・切機																														
灯	3																1													
衝突の火花	1			1																			50			50				
取灰																														
火入れ	4	1					3	2	1		1		10	5			1					96	91						5	
放火	10	4		4			2	4			4		2	2	2	3				3	8	1,988	271		1,215		502			
放火の疑い	19	9	1	1			8	11	1	1	2	7	113	207	5	1	1	2			2	3	22,315	22,096		162		57		
その他	17	6		2			8	8	1	2	2	5	199	45	5	1	2	2	1		1	5	14,000	11,602		270		2,128		
不明	19	10	1	4			4	17	6	3	6	2	816	89		2	3	10	5		5	29	98,062	96,801		1,216		45		

## 過去10年間 年別主な火災原因

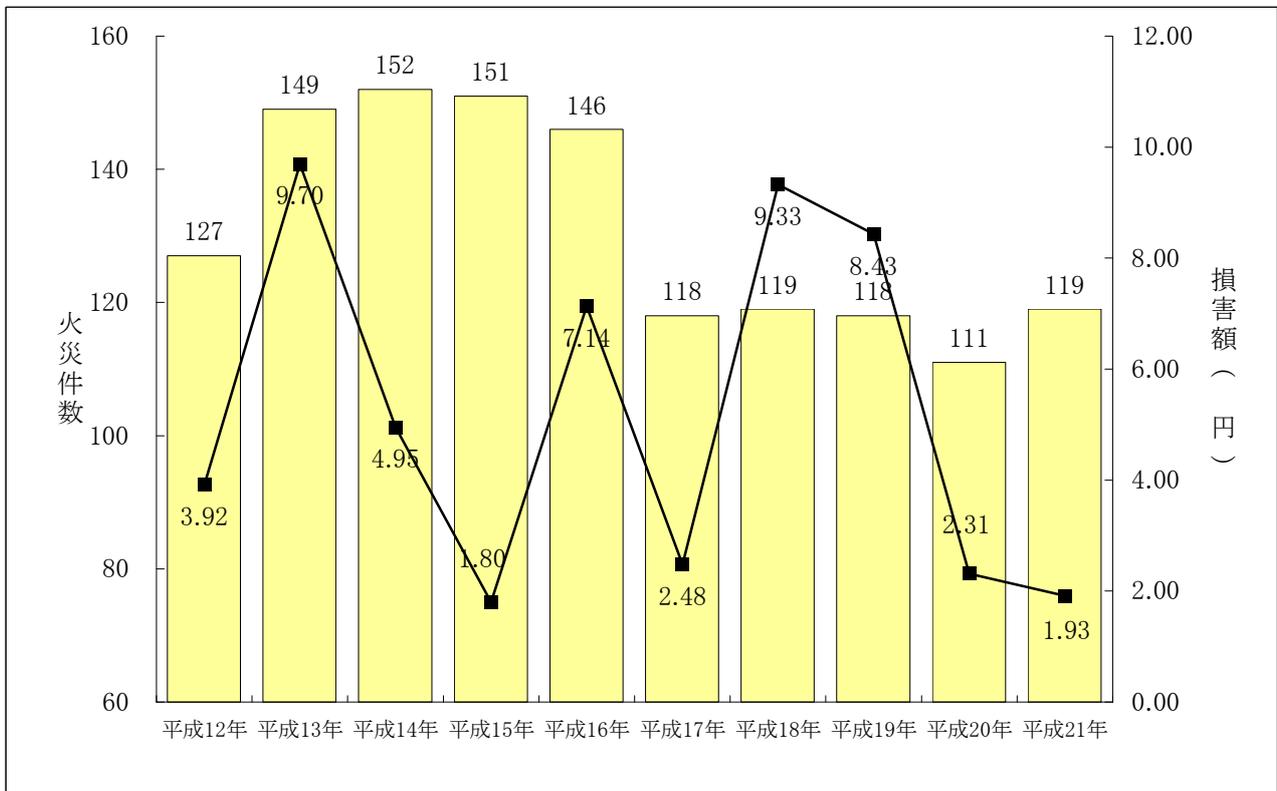
年 別	火災件数	主 な 火 災 原 因		
平成12年	127件	放火の疑い 放火 8件	たばこ 17件	たき火 13件
平成13年	149件	たき火 28件	放火 22件 放火の疑い 4件	たばこ 13件
平成14年	152件	たき火 30件	放火の疑い含む 放火 30件	こんろ 19件
平成15年	151件	放火 (放火の疑い含む) 47件	たき火 19件	たばこ 13件
平成16年	146件	放火 (放火の疑い含む) 42件	たき火 17件	たばこ 17件
平成17年	118件	放火 (放火の疑い含む) 34件	電気機器 9件	たばこ 9件
平成18年	119件	放火 (放火の疑い含む) 32件	こんろ 10件	たばこ 10件
平成19年	118件	放火 (放火の疑い含む) 24件	たばこ 15件	こんろ 11件
平成20年	111件	放火 (放火の疑い含む) 25件	こんろ 12件	たばこ 10件
平成21年	119件	放火 (放火の疑い含む) 29件	こんろ 13件	たばこ 8件

### 過去10年間の火災発生状況

区分 年別	火 災 件 数						損害額 (千円)	損 害 面 積		死 傷 者	
	合 計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物焼損 表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者
平成12年	127	58	4	32	1	32	391,514	3,789 <595>	2	5	10
平成13年	149	76	2	25		46	969,521	3,126 <201>	39	4	19
平成14年	152	80	8	23	1	40	495,482	11,647 <317>	14	6	27
平成15年	151	74	9	28		40	179,937	4,717 <375>	76	4	29
平成16年	146	68	6	28		44	713,516	1,835 <757>	341	8	22
平成17年	118	61	1	19		37	248,221	6,823 <396>	60	8	19
平成18年	119	77	2	13		27	932,595	2,186 <265>	1	6	26
平成19年	118	76	2	19		21	843,475	4,534 <270>	71	8	23
平成20年	111	67		17	1	26	231,055	1,598 <147>	0	13	15
平成21年	119	63	5	15		36	192,819	2,287 <451>	21	7	15
平 均	131	70	4	22	1	35	519,814	4,254 <377>	63	7	21

平均の小数点以下は四捨五入

※< >は建物焼損表面積



海上・沿岸防災等（IBK委託状況）

（平成21年中）

種 別 \ 月 別		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
災 害 出 動	火 災	0												
	水難救助	3						1			1			1
	流出油	0												
	その他	0												
警 防	警 備	1								1				
	警 戒	0												
	警防調査	0												
	その他	1								1				
予 防	広 報	0												
	予防調査	0												
	その他	0												
訓 練	災害防御	1									1			
	航 海	0												
	操 船	0												
	水難救助訓練	15					1	1	1	2	3	3	1	3
	その他	1		1										
合 計		22	0	1	0	0	1	2	1	4	5	3	1	4

# 火災・救助以外の消防車両の出動

平成21年中

分類	件数	説明
交通支援	111	国道1号、23号等通行量の多い道路における救急支援のための出動
救急支援	813	消防隊・救助隊による上記以外の救急の支援出動
たきび	49	たきび等の怪煙による調査警戒のための出動
交通油漏れ	73	交通事故等により、人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、道路上に漏れ出たものによる出動
その他油漏	3	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、池、湖、河川、海等に流れ出たものによる出動
ガス漏れ	5	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがあるガス又は毒劇物等の漏洩による出動
機器発報	84	直接通報、火災通報、即時通報及び自動火災報知設備の発報等による出動で非火災であったもの
虚報	4	出動した結果、いたずら等であったもの
誤報	17	出動した結果、誤報、誤認であったもの
非火災事故	73	火災調査の結果、火災に至らないもの
搜索	0	山岳遭難、水難事故に伴う搜索等による出動
その他	61	「警戒」から「搜索」までに掲げる種別以外による出動
総計	1293	

# 消 防 水 利 状 況

(平成22年4月1日)

	合 計	消 火 栓						防 火 水 槽						そ の 他						
		小計	工業用水		上水道		小計	100	60	40	100	40	40	小計	井戸	プールの	池沼	河川	海運河	
			双口	単口	双口	単口		m3耐震	m3耐震	m3耐震	m3以上	m3以上	m3未満							
<b>合 計</b>	<b>7351</b>	<b>6538</b>	<b>90</b>	<b>98</b>	<b>77</b>	<b>6273</b>	<b>580</b>	<b>39</b>	<b>31</b>	<b>154</b>	<b>8</b>	<b>229</b>	<b>119</b>	<b>233</b>	<b>51</b>	<b>74</b>	<b>14</b>	<b>76</b>	<b>18</b>	
中消防署管内	共 同	152	138	0	1	4	133	9	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0
	同 和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	中 央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0
	港	130	116	5	4	2	105	6	2	0	0	1	1	2	8	0	0	0	0	8
	浜 田	268	246	4	1	8	233	16	5	1	4	1	3	2	6	3	2	0	1	0
	橋 北	148	127	1	5	5	116	12	3	0	2	0	4	3	9	3	3	0	3	0
	海 蔵	219	203	1	0	2	200	11	1	1	4	0	4	1	5	0	2	0	3	0
	常 磐	304	275	13	4	6	252	17	0	3	3	0	10	1	12	2	3	0	7	0
	川 島	204	183	0	0	2	181	18	0	1	1	0	14	2	3	0	1	1	1	0
	神 前	210	190	0	0	1	189	17	0	2	4	1	6	4	3	0	3	0	0	0
	桜	287	258	0	0	1	257	21	0	0	6	0	12	3	8	0	3	0	5	0
	県	243	204	0	0	1	203	31	0	0	9	0	16	6	8	0	2	0	6	0
	三 重	414	367	6	5	6	350	35	0	0	15	0	13	7	12	0	6	0	6	0
小 計	2653	2371	30	20	40	2281	199	17	8	48	3	89	34	83	15	27	1	32	8	
北消防署管内	羽 津	301	278	4	17	10	247	15	2	1	2	0	6	4	8	2	3	1	1	1
	富 田	244	217	4	2	0	211	10	2	1	4	1	1	1	17	9	3	0	3	2
	富洲原	245	214	6	1	0	207	15	3	0	8	0	3	1	16	7	2	0	0	7
	大矢知	295	272	0	1	3	268	17	0	2	8	0	3	4	6	3	2	1	0	0
	八 郷	291	254	3	3	0	248	34	0	0	9	0	18	7	3	0	3	0	0	0
	下 野	208	186	1	0	0	185	19	0	0	10	0	3	6	3	0	2	0	1	0
	保 々	258	220	0	0	0	220	34	0	0	5	1	18	10	4	0	2	1	1	0
	朝 日	283	231	0	13	9	209	49	0	0	7	0	22	20	3	0	3	0	0	0
	川 越	516	483	2	6	1	474	21	0	0	17	0	4	0	12	2	4	0	6	0
	小 計	2641	2355	20	43	23	2269	214	7	4	70	2	78	53	72	23	24	3	12	10
南消防署管内	塩 浜	244	215	9	14	3	189	15	6	1	3	1	3	1	14	8	3	0	3	0
	日 永	300	269	15	6	8	240	15	3	0	3	1	5	3	16	4	3	1	8	0
	四 郷	353	325	0	4	2	319	16	2	1	2	0	7	4	12	0	6	0	6	0
	内 部	327	295	0	2	1	292	22	0	1	4	0	10	7	10	1	3	1	5	0
	河原田	153	128	5	5	0	118	18	1	0	6	0	10	1	7	0	3	0	4	0
	小山田	217	177	0	0	0	177	29	0	0	4	0	15	10	11	0	2	5	4	0
	水 沢	162	141	0	0	0	141	15	0	0	4	1	6	4	6	0	1	3	2	0
	楠	301	262	11	4	0	247	37	3	16	10	0	6	2	2	0	2	0	0	0
	小 計	2057	1812	40	35	14	1723	167	15	19	36	3	62	32	78	13	23	10	32	0

## 開発行為に関する事前協議等について

### 概要

地域の計画的な発展と良好な市街地の形成を図るため、都市計画法（昭和43年法律第100号）の規定に基づき、開発許可等に関し必要な事項を定めることにより、良質な開発行為等を誘導し、もって住みよいまちづくりの実現と地域住民の健全な生活環境を保全することを目的とし制定された四日市市開発許可等に関する条例に基づき、万一の災害が発生しても、安全かつ円滑な災害防ぎょ活動が実施できるよう、消防活動上必要な施設の設置等、宅地開発行為に関し必要な事項の同意、協議について審査、指導するものである。

		平成20年度	平成21年度
審査件数		105件	60件
指導内容	水利関係	19件	5件
	消防活動用空地	5件	1件
	その他	0件	0件
	指導件数合計	24件	6件

## 緊急消防援助隊の派遣体制

		隊 名 等	人員	派遣車両等	
派 遣 隊	県隊長		1	51号	
	指揮隊	指揮隊長	1		
		指揮隊員	3		
	消火隊（タンク）1台目		4	北6号	
	消火隊（タンク）2台目		4	南15号	
	消火隊（ポンプ）3台目		4	中1号	
	救助隊（Ⅲ型）		4	中41号	
	特殊災害 部隊	大規模 危険物	大型高所放水車	2	南34号
			大型化学車	4	南10号
			原液搬送車	2	中74号
		毒劇物対応		※4	※南10号
	救急隊（高規格救急車）1台目		3	救急1号	
	救急隊（高規格救急車）2台目		3	救急5号	
	後方支援隊		2	三重県災害対策支援車	

※登録隊数等 12車両41名（重複除く 11車両37名）

## 四日市市消防支援隊の活動状況

四日市市消防支援隊とは、大規模災害の発生時に迅速な市民対応と安全な市民生活を確保するため、四日市市消防本部の退職者が有する消防及び防災の知識、技術、経験を活かし、消防本部及び消防署等が行なう消防、防災活動を支援する制度である。

### 【 活動内容 】

- (1) 消防本部、消防署及び消防分署の広報活動
  - ア 庁舎、資機材等の管理
  - イ 市民への機材貸出し（のこぎり、パール等の軽量機材）
  - ウ 避難者の応急手当
  - エ 避難者の広域避難地への案内
  - オ 支援物資の管理
- (2) 情報収集
  - ア 自宅周辺の被害状況の報告
  - イ 参集途上の道路、危険箇所及び建築物等の被害状況に係る報告
  - ウ 消防署等における住民からの情報収集
- (3) 消防本部、消防署及び消防分署が行なう災害活動の支援
  - ア 広域応援隊の誘導
  - イ 活動中の消防署員等の食糧及び飲料水等の供給
- (4) 地域防災活動の支援
  - ア 地域の防災リーダーとしての地元自治会が実施する地域防災活動等の支援

### 【 四日市市消防支援隊登録状況 】

平成22年4月1日現在 90名

# 自主防災組織の育成

## (市民防災隊)

防災機関の第一線である消防機関は、増大する災害の危険性に備えて、その機能強化を図っていますが、大地震が発生した場合は、電話の不通、道路の陥没、隆起、火災の同時多発、水道間の破損などにより消防機関の消火、救急、救護活動は、その機能を十分に果たせなくなり、被害地域のすべてに対応することが困難になります。

このような事態に直面した時に初期消火、救出救護、避難誘導などの活動を行うことができるのは、被災地の住民以外にはなく、このような「自分たちのまちは、自分たちで守る」という理念に基づいて防災活動を行うための組織が「自主防災組織」です。

本市においては、昭和53年から自主防災組織づくりを推進し、主に臨海部を中心に耐震性の100t貯水槽と可搬式小型動力ポンプを配備した市民防災隊36隊が組織されています。

昭和60年には、市民防災隊が相互に連絡協調を図り、広く防災思想の普及高揚に勤める目的で「四日市市市民防災隊連絡協議会」を結成し、訓練・防災研修会等の活発な活動を実施しています。

### ● 市民防災隊の活動について

地震の大災害が発生した場合に、すばやく能率的に防災活動を行って自分たちの生命や財産を守ることができるように自主防災組織では、それぞれの役割をできる限り具体的に決めています。

現実の災害には、情報の収集伝達を行う情報収集班、可搬式小型動力ポンプや消火器等による初期消火活動を行う消火班、負傷者が発生した場合に救出救護活動を行う救出救護班、住民の避難誘導を行う避難誘導班の四つに分けて防災活動を行います。

### ● 実災害にそなえて

実際に災害が発生したときは、なかなか思うように身体が動かないものです。そのような時に落ち着いて、しかも安全に行動ができるような防災について学んだ知識を生かして、実際に活動するために、普段から協力して訓練を実施しています。

訓練には、情報伝達収集訓練、消火訓練、救出救護訓練、避難誘導訓練、炊き出し訓練などがあります。

### ● 各隊の装備品

- ・動力消防ポンプ（台車付き）
- ・100t耐震貯水槽
- ・防火外套・ヘルメット・簡易救助資器材・担架

## 耐震性貯水槽等設置場所

(100t)

(平成22年4月1日)

地区名	設 置 場 所		設置 年度	地区名	設 置 場 所		設置 年度
浜 田	鵜の森一丁目	鵜の森公園	53	共 同	堀木二丁目	堀木公園	58
港	稲 葉 町	納屋公園	53	橋 北	川原町	川原町公園	58
塩 浜	馳 出 町	馳出公園	53	共 同	西浦一丁目	西浦公園	59
浜 田	曙町	曙公園	54	浜 田	西浜田町	西浜田公園	59
橋 北	新浜町	三滝公園	54	四 郷	笹川五丁目	笹川公園	59
羽 津	八田二丁目	地藏堂前	54	日 永	前田町	市営住宅	59
富洲原	富田一色町	海浜公園	54	共 同	中部	中部公園	60
塩 浜	御藪町	御藪神社	54	富 田	富田浜町	富田浜公園	60
浜 田	諏訪栄町	諏訪公園	55	四 郷	笹川九丁目	笹川六号公園	60
港	南納屋町	南納屋公園	55	羽 津	別名四丁目	別名公園	61
富洲原	松原町	松原公園	55	日 永	日永一丁目	大瀬古子供広場	61
橋 北	滝川町	滝川公園	56	河原田	川尻町	川尻町公民館前	61
富洲原	天力須賀	天力須賀公園	56	浜 田	三栄町	三栄公園	62
塩 浜	磯津町	磯津公会所前	56	海 蔵	東阿倉川町	海蔵神社	62
浜 田	新正二丁目	新正中公園	57	塩 浜	海山道一丁目	海山道神社前公園	62
富 田	東富田町	海浜公園	57	中 央	元新町	四ツ谷公園	63
塩 浜	小浜町	小浜公園	57	塩 浜	七ツ屋町	七ツ屋広場	63
中 央	栄町	中央公園	58	日 永	六呂見町	六呂見公園	63

## 防災教育センター利用状況

### 【概要】

平成9年4月に四日市市北消防署に併設された防災教育センターは、市民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設を備えてあり、2階の防災センターには、視聴覚設備を利用して防火に関する種々なビデオテープを活用し、防災意識を高めて頂いたり、また、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。

今後も、多くの市民の方々に防災意識を高めて頂くよう利用の促進に努めていきたいと考えております。

### 21年度

区分 月別	防災展示体験室											防災センター			
	消防施設見学		自主防 災隊	消防関係	自治会	会社 関係	官公庁	他都市 視察	家族		個別		計	計	累計
	保・幼稚園	小中学校							子供	大人	子供	大人			
4月	件数					1			4			5	3	3	
	人員					2			10	8		20	65	65	
5月	件数		1		2	1	5		8			17	5	8	
	人員		3		12	1	12		8	15		51	86	151	
6月	件数		5						2		4	11	5	13	
	人員		125						3	5	6	7	145	83	234
7月	件数	3	4	1		1		1	4		2	16	6	19	
	人員	125	12	20		8		12	11	5		2	195	127	361
8月	件数		2			1			65		1	69	11	30	
	人員		18			1			89	116	5	229	5763	6124	
9月	件数	1	2			1			2		9	15	4	34	
	人員	67	195			1			4	4	14	7	292	92	6216
10月	件数	6	4		1	1					3	15	10	44	
	人員	189	377		2	5					5	4	582	363	6579
11月	件数	3	5								3	11	8	52	
	人員	115	273								8	3	399	234	6813
12月	件数	4			1				3		3	11	4	56	
	人員	294			1				5	11	30	1	342	300	7113
1月	件数	2	1						2		2	7	1	57	
	人員	71	5						2	4	10	14	106	13	7126
2月	件数	2							3			5	6	63	
	人員	116							4	6		126	149	7275	
3月	件数	1				2			5			8	7	70	
	人員	24				2			9	8		43	165	7440	
合計	件数	22	24	1	4	1	12	0	1	98	27	190			
	人員	1001	1008	20	15	1	31	0	12	145	182	78	38	2531	

※防災展示、体験者数月平均

210人

防災センター一月平均利用者

620人

## 四日市市防災指導員制度

阪神・淡路大震災は、私たちに数多くの防災対策に関する教訓を残しましたが、その教訓のひとつとして、高齢者等の災害時要援護者の人たちへの防災対策がクローズアップされました。

そこで、四日市市消防本部では平成8年度から地域に密着したきめ細やかな、災害に強いまちづくりの防災対策を実施するために、防災指導員制度を創設しました。

この制度は、防災に関し豊富な知識と経験を有した人を防災指導員として任命し、ひとり暮らしの高齢者宅などの防災診断として家の中の危険な箇所や地震が発生した場合における注意点などを指導しています。

防災診断は、平成8年からスタートし、平成18年度までに全市域の高齢者宅を4巡実施しております。

また、平成18、19年度には、特別防災診断して住宅用火災警報器の設置を完了させ、平成20年度から第5回の防災診断5巡目をスタートさせ、高齢者の安全、安心に努めています。

### 防災診断実施状況

(平成22年4月1日現在)

診断対象区分		第1～3回 (H8.6～H17.3)	第4回 (H17.4～H19.3)	特 別 (H19.4～H20.3)	第5回 (H20.4～H.22.3)	総 合 計
訪問世帯数	合計	10,537	3,084	3,256	3,191	20,068
	ひとり暮らし高齢者宅	10,061	2,873	3,092	3,031	19,057
	寝たきりの高齢者宅等	294	181	136	114	725
	障 害 者 等	182	30	28	46	286
診断世帯数	合計	8,179	2,740	3,235	2,137	16,291
	ひとり暮らし高齢者宅	7,773	2,533	3,071	2,028	15,405
	寝たきりの高齢者宅等	241	178	136	72	627
	障 害 者 等	165	29	28	37	259

### 防災指導員による指導状況

(平成22年4月1日現在)

	指導内容	件 数
防	暖房器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	1
	調理器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	1
火	風呂釜の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	2
	たばこの始末及びマッチ、ライター、ロウソク等の火気の管理が適切でない。	1
管	ガス器具、ガスボンベ及びガス警報機等管理及び付近の整理が適切でない。	1
	屋内に灯油等の危険物が放置され、その管理が適切でない。	1
理	電気配線が適切でない。	2
	屋内の整理整頓が必要である。	5
	住宅用火災警報器が未設置	68
地 震 対 策	建物の構造等に問題があり、地震が発生した場合に危険である。	1
	就寝場所に家具があるため、地震が発生した場合、家具が転倒し負傷する危険がある。	100
	地震や風水害の発生により避難の必要があるときに、自力で避難することができない。	2
	燃焼器具等の燃料タンクが屋内にあり、地震が発生した場合、転倒の危険がある。	0
指 導 件 数 合 計		185

# 防火・防災教室の経緯と現状

平成22年3月31日

1. 防災教育の目的	阪神・淡路大震災を教訓とした、「災害に強い人づくり」事業として、小・中学校の防災教育をとおり、災害時における行動等について理解を深め、防災意識の高揚を図る。
2. 活動実績 (1) 防災教室 (原則として中学1年生を対象として1学期に実施)	管内の中学1年生を対象として平成8年度からモデル校を指定して試行的に実施。 平成13年度から管内の中学校（私立中を含む）28校で実施 ・ 平成18年度実施校（28校・3,410人） ・ 平成19年度実施校（28校・3,351人） ・ 平成20年度実施校（28校・3,327人） ・ 平成21年度実績校（28校・3,315人）
(2) 防火教室 (原則として小学5年生を対象として2学期に実施)	管内の小学5年生（一部の小学校では4年生）を対象として昭和56年度より管内の小学校を対象として実施。 平成13年度から管内の小学校（私立小を含む）45校で実施 ・ 平成18年度実施校（45校・3,377人） ・ 平成19年度実施校（44校・3,666人） ・ 平成20年度実施校（45校・3,708人） ・ 平成21年度実績校（45校・3,488人）
3. 標準カリキュラム (1) 防災教室（中学生） (全体3時限、分割有)	(ア) 避難訓練及び教諭の講話（学校主体） (イ) スライド等を活用した防災講話 (阪神淡路大震災、新潟中越地震、東海豪雨等) (ウ) 応急手当の実技指導（止血、固定、搬送法）等
(2) 防火教室（小学生） (全体2時限、連続)	(ア) テキスト「みんなで防火」を用いた防火講話 (イ) 体験実技 ・ 水消火器による模擬消火体験 ・ スモークマシンによる煙体験 ・ 天ぷら油火災シュミレーション

救急 ・ 救助

# 一 目 統 計

平 成 2 1 年 中

救 助 出 場 件 数		1 7 0 件
(うち 高度救助隊 出場件数)		1 3 1 件 )
救 助 活 動 件 数		1 0 0 件
(うち 高度救助隊 活動件数)		6 4 件 )
活 動 割 合		6 4 . 1 %
出 場 延 べ 隊 数		7 3 8 隊
救 助 人 員		1 1 0 人
1 日あたりの平均出場件数		0 . 4 7 件
活動1回あたりの平均救助人数		1 . 0 9 人

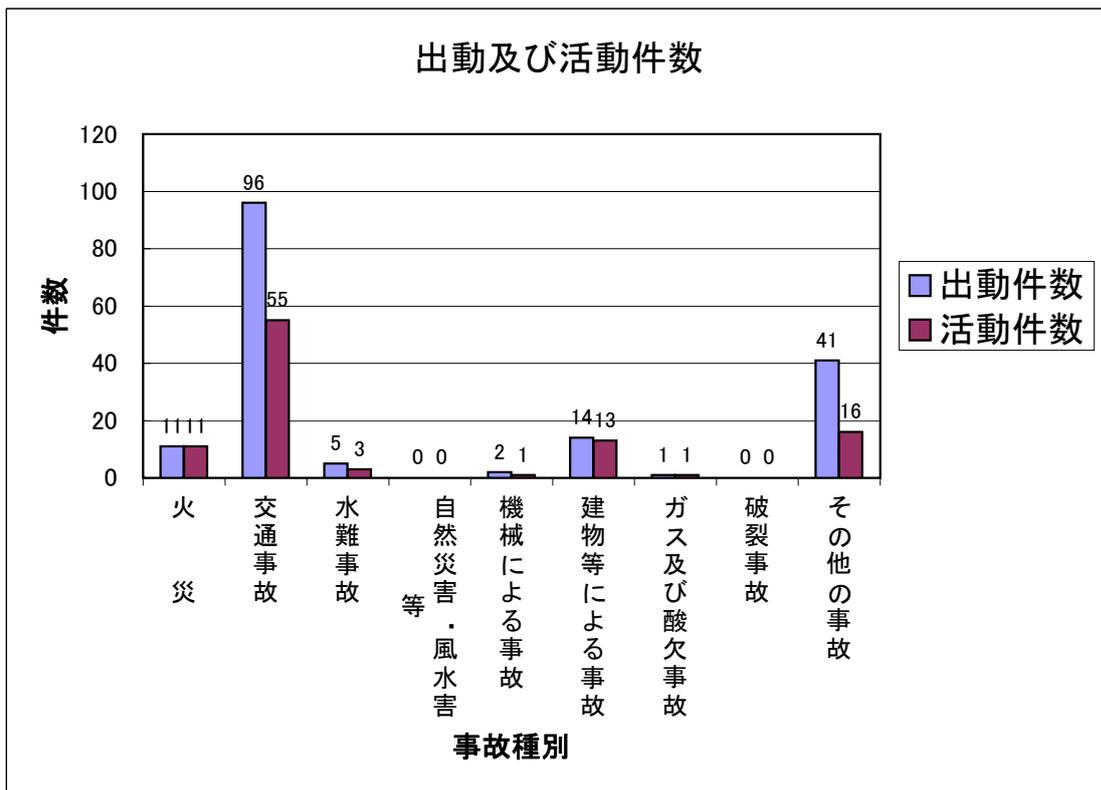
## 救 助 の 多 い 少 な い

出 場 件 数 の 多 か っ た 月	1 1 月、1 2 月	1 8 件
出 場 件 数 の 少 な か っ た 月	1 0 月	5 件
出 場 件 数 の 多 か っ た 曜 日	金曜日	3 1 件
出 場 件 数 の 少 な か っ た 曜 日	火曜日、土曜日	2 1 件
出 場 件 数 の 多 か っ た 地 区	高速道路、日永地区	1 4 件
出 場 件 数 の 少 な か っ た 地 区	保々地区、楠町	0 件
出 場 件 数 の 多 か っ た 時 間 帯	8 時～9 時 1 1 時～1 2 時 1 5 時～1 6 時	1 4 件
出 場 件 数 の 少 な か っ た 時 間 帯	2 時～3 時 3 時～4 時 4 時～5 時	2 件
出 場 の 多 か っ た 事 故 種 別	交通事故	9 6 件
出 場 件 数 の 1 番 多 か っ た 日	5 月 1 6 日	3 件

## 救出・救助活動状況

(平成21年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出場件数	11	96	5	0	2	14	1	0	41	170
出場隊数	112	408	42	0	8	26	7	0	61	664
出場延べ人員	669	1,500	126	0	28	94	22	0	236	2,675
活動件数	11	55	3	0	1	13	1	0	16	100
救助人員	12	64	4	0	1	12	2	0	15	110



## 水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、遊泳中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、平成22年4月1日現在、17名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
1 7 年 中	災害出動 水難救助	4						1	1			2		
	水難訓練	45	3	3	3		3	9	3	3	3	3	9	3
	新人研修	5	1	2	2									
1 8 年 中	災害出動 水難救助	8		1		1	1			1	1	1	2	
	水難訓練	37	3	2	2	3	2	4	4	2	3	5	5	2
	新人研修	17						5	2	2	2	2	2	2
1 9 年 中	災害出動 水難救助	5	1	2		1			1					
	水難訓練	35	2	2	2		1	4	5	3	3	6	4	3
	新人研修	28	2	2	2			5	1	4	2	2	6	2
2 0 年 中	災害出動 水難救助	5			1			1		2		1		
	水難訓練	48	2	2	2	1	2	8	5	7	6	5	6	2
	新人研修	26	2	2	3		1	2	2	1	4	4	3	2
2 1 年 中	災害出動 水難救助	5					1	1			1			2
	水難訓練	29	2	2	2		2	2	2	4	3	3	4	3
	新人研修	27	2	2	2			4	2	3	1	4	5	2

## 一 目 統 計

平成21年中

救 急 出 場 件 数		12,109件
搬 送 件 数		11,083件
不 搬 送 件 数		1,026件
搬 送 人 員		11,326人
	男	6,208人
	女	5,118人
一日あたりの平均出場件数		33.2件
一日あたりの平均搬送人員		31.0人
救急告示医療機関数		13施設 (四日市地域医療圏内)
出場件数の多かった月	12月	1,135件
出場件数の少なかった月	2月	881件
出場件数の多かった曜日	月曜日	1,837件
出場件数の少なかった曜日	土曜日	1,648件
出場件数の多かった地区	常磐地区	1,022件
出場件数の少なかった地区	同和地区	26件
出場件数の多かった時間帯	8時～10時	1,414件
出場件数の少なかった時間帯	2時～4時	466件
出場の多かった事故種別	急病	7,726件
出場件数の一番多かった日	8月4日	53件
出場件数の一番少なかった日	4月23日	15件

## 平成21年中の救急業務の概要

平成21年中の救急出場件数は12,109件で、前年に比べ390件(3.1%)の減少となりました。また、搬送人員は11,326人で前年と比べ282人(2.4%)の減少となりました。救急業務を開始した昭和35年12月以来、年々増加を続けていた救急出動件数が平成18年からはその増加傾向にやや歯止めがかかっていた中で平成20年に続き2年連続の減少となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が7,730件(63.8%)で最も多く、続いて「交通事故」が1,552件(12.8%)、「一般負傷」が1,391件(11.5%)、「転院搬送」が871件(7.2%)となりました。「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めており、件数は減少したものの、構成比率は高止まりしています。また「転院搬送」については、前年に比べ112件(11.4%)の減少となりました。

反面、「交通事故」については、平成13年以降減少していましたが、件数は横ばいに転じています。

救急車の利用状況については、管内の住民約28人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、33.2件出動したことになります。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢別』『重症度別』『地区別』『月別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して65歳以上の「高齢者」は増加しているが、「乳幼児」、「少年」はほぼ横ばい、「成人」はやや減少にあります。特に「高齢者」の搬送比率は49.3%となっており、18年から21年まで毎年1~2%の比率で徐々に増加しています

『重症度別』の傾向については、搬送者全体に占める「死亡」と「中等症」の比率はここ数年間で大きな変化はありませんが、「重症」と「軽症」はやや減少しております。しかし、入院を必要としない「軽症」の比率は62.1%となっており、全国平均の50.8%(平成20年中)を大幅に上回っていることなどが特徴となっています。

『地区別』の傾向については、「中部」「常磐」「日永」「三重」「四郷」「羽津」の各地区が救急需要の多い6地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、3消防署に5台の救急車を、また西部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、さらに平成20年11月に開設した中消防署中央分署(曾井町)に1台、計10台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、署所配置などの検討を行いながら、“5分救急”施策の実現を目指します。

また、全ての救急車に少なくとも1名以上の救急救命士を配置できるよう、救急救命士の養成を継続していきます。

加えて、22年4月までに市内の公的施設にAED（自動体外式除細動器）が320台配備され、さらに一般事業所等への設置も進んでおり、それらの事業所等で勤務する職員に対するAEDの取扱いを含めた応急手当講習を計画的に進めていきます。

◎ 救急救命士による特定行為の処置実績

処置内容		気道確保	静脈路確保	薬剤投与	除細動
処置 実 績	平成12年中	48	26	—	14
	平成13年中	39	26	—	12
	平成14年中	45	28	—	11
	平成15年中	50	33	—	17
	平成16年中	54	23	—	25
	平成17年中	51 (1)	36	—	26
	平成18年中	68 (1)	21	2	22
	平成19年中	52 (5)	36	9	24
	平成20年中	42 (4)	61	12	30
	平成21年中	39 (7)	57	9	20

1 気道確保実績のうち、( )内の数値は、気管挿管（平成16年7月1日から特定行為として解禁）の実施件数

有資格者 6名（平成21年12月現在）

2 除細動は、平成16年7月1日から特定行為から除外

3 薬剤投与は、平成18年4月1日から特定行為として実施開始

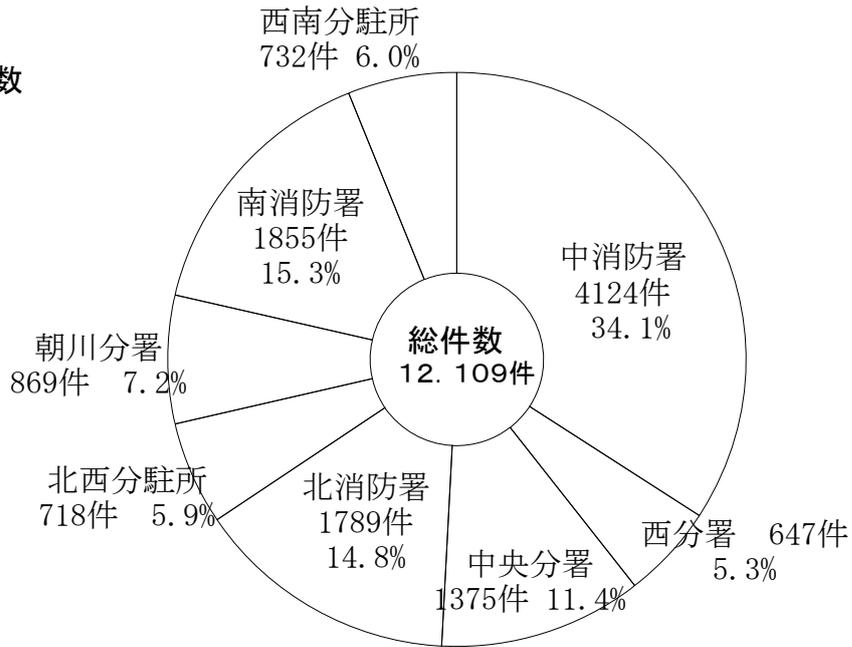
有資格者 17名（平成21年12月現在）

# 救急概要

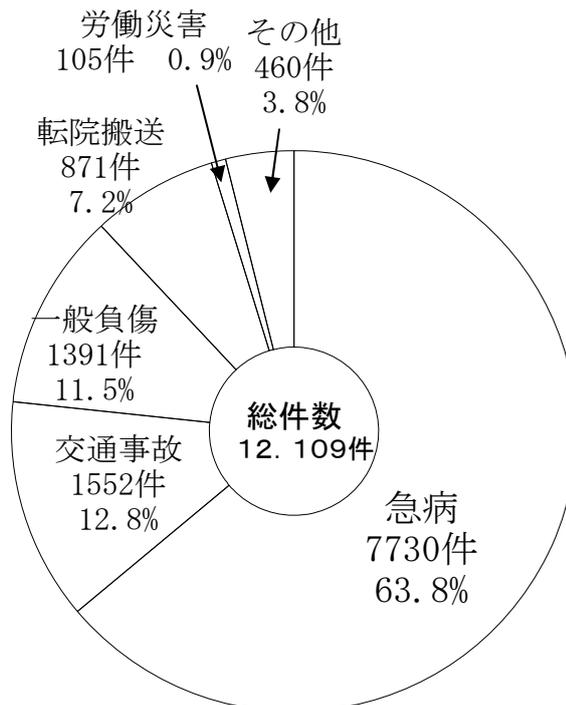
(平成21年中)

区 分	件数・人員	一日平均
救急出場件数	12,109件	33.2件
搬 送 件 数	11,083件	30.4件
搬 送 人 員	11,326人	31.0人

救急隊別件数



事故別救急出動件数



## 救急発生状況比較

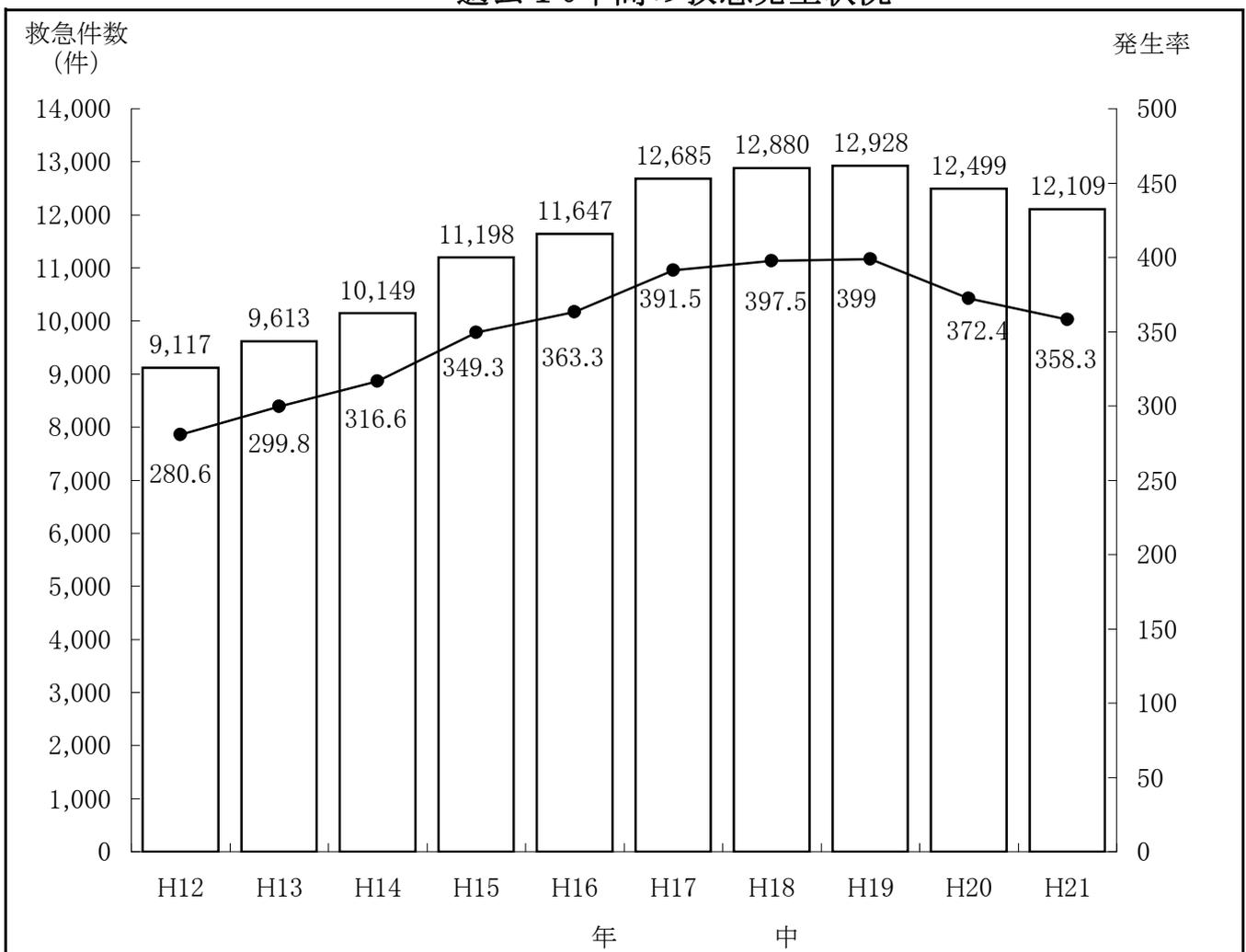
区 分		年 度				
		平成17年中	平成18年中	平成19年中	平成20年中	平成21年中
全 国	救急件数	5,277,936件	5,237,716件	5,293,403件	5,100,370	未確定
	発生率	413.1件	409.9件	414.3件	399.2件	未確定
三重県	救急件数	70,069件	70,362件	73,409件	72,553件	未確定
	発生率	374.1件	376.9件	393.2件	388.6件	未確定
四日市市 (受託2町 含む)	救急件数	12,685件	12,880件	12,928件	12,499件	12,109件
	発生率	391.5件	397.5件	399.0件	372.4件	358.3件

※数値は受託2町を含む。

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

## 過去10年間の救急発生状況



平成21年

## 地区別救急出場状況

地区別		区分		出場件数		搬送件数		搬送人員	
		合計		12,109 件	100 %	11,083 件	100 %	11,326 件	100 %
中 消 防 署	小計	<b>5,323</b>	<b>43.96</b>	<b>4,858</b>	<b>43.83</b>	<b>4,957</b>	<b>43.77</b>		
	共同	648	5.35	574	5.18	581	5.13		
	同和	26	0.21	21	0.19	21	0.19		
	中央	125	1.03	109	0.98	109	0.96		
	港	163	1.35	154	1.39	155	1.37		
	浜田	663	5.48	600	5.41	613	5.41		
	橋北	260	2.15	238	2.15	244	2.15		
	海蔵	408	3.37	373	3.37	384	3.39		
	常磐	1,022	8.44	932	8.41	953	8.41		
	川島	294	2.43	273	2.46	273	2.41		
	神前	242	2.00	222	2.00	232	2.05		
	桜	472	3.90	446	4.02	452	3.99		
	県	232	1.92	212	1.91	225	1.99		
	三重	768	6.34	704	6.35	715	6.31		
北 消 防 署	小計	<b>2,851</b>	<b>23.54</b>	<b>2,612</b>	<b>23.57</b>	<b>2,655</b>	<b>23.44</b>		
	羽津	657	5.43	616	5.56	628	5.54		
	富田	463	3.82	417	3.76	425	3.75		
	富洲原	381	3.15	354	3.19	359	3.17		
	大矢知	508	4.20	467	4.21	475	4.19		
	八郷	329	2.72	304	2.74	310	2.74		
	下野	297	2.45	256	2.31	257	2.27		
	保々	216	1.78	198	1.79	201	1.77		
南 消 防 署	小計	<b>3,086</b>	<b>25.49</b>	<b>2,837</b>	<b>25.60</b>	<b>2,899</b>	<b>25.60</b>		
	塩浜	337	2.78	309	2.79	315	2.78		
	日永	798	6.59	730	6.59	749	6.61		
	四郷	680	5.62	625	5.64	635	5.61		
	内部	438	3.62	399	3.60	410	3.62		
	河原田	158	1.30	147	1.33	150	1.32		
	小山田	234	1.93	214	1.93	220	1.94		
	水沢	99	0.82	92	0.83	94	0.83		
楠	342	2.82	321	2.90	326	2.88			
高速自動車道		54	0.45	46	0.42	53	0.47		
市 外	小計	<b>795</b>	<b>6.57</b>	<b>730</b>	<b>6.59</b>	<b>762</b>	<b>6.73</b>		
	朝日町	297	2.45	276	2.49	282	2.49		
	川越町	495	4.09	451	4.07	477	4.21		
	その他	3	0.02	3	0.03	3	0.03		

平成21年

## 月別救急出場状況

事故別	区分	月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出場件数	<b>12,109</b>	<b>1,131</b>	<b>881</b>	<b>1,005</b>	<b>907</b>	<b>962</b>	<b>916</b>	<b>989</b>	<b>1,002</b>	<b>985</b>	<b>1,131</b>	<b>1,065</b>	<b>1,135</b>
	搬送人員	<b>11,326</b>	<b>1,041</b>	<b>809</b>	<b>930</b>	<b>864</b>	<b>893</b>	<b>848</b>	<b>919</b>	<b>976</b>	<b>923</b>	<b>1,080</b>	<b>999</b>	<b>1,044</b>
火災	出場件数	<b>77</b>	11	7	14	7	8	5	6	1	7	2	1	8
	搬送人員	<b>14</b>	3	4	2	1	1	2	0	0	0	0	0	1
自然災害	出場件数	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	<b>6</b>	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2
	搬送人員	<b>4</b>	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
交通	出場件数	<b>1,552</b>	133	101	110	123	136	123	119	132	134	141	139	161
	搬送人員	<b>1,629</b>	131	102	112	131	144	118	121	164	141	148	143	174
労働災害	出場件数	<b>105</b>	9	14	8	7	4	6	16	6	5	13	11	6
	搬送人員	<b>105</b>	9	14	7	7	4	6	16	5	5	15	11	6
運動競技	出場件数	<b>86</b>	6	2	8	5	6	10	7	11	9	4	10	8
	搬送人員	<b>90</b>	6	2	8	5	6	10	10	11	9	5	10	8
一般負傷	出場件数	<b>1,391</b>	126	94	125	122	120	103	107	81	117	145	113	138
	搬送人員	<b>1,304</b>	120	82	117	119	112	99	101	75	110	134	108	127
加害	出場件数	<b>80</b>	8	4	7	8	10	5	6	5	8	2	7	10
	搬送人員	<b>73</b>	8	4	7	8	7	6	6	4	8	2	5	8
自損行為	出場件数	<b>167</b>	19	9	12	6	20	10	24	15	14	14	14	10
	搬送人員	<b>112</b>	14	4	9	4	11	7	20	8	12	12	5	6
急病	出場件数	<b>7,730</b>	717	583	641	559	587	583	626	685	620	724	691	714
	搬送人員	<b>7,115</b>	656	535	589	521	538	531	571	646	571	678	639	640
転院搬送	出場件数	<b>871</b>	95	63	77	67	69	68	73	63	64	84	78	70
	搬送人員	<b>865</b>	93	62	77	66	69	68	73	62	63	84	78	70
その他	出場件数	<b>44</b>	7	4	3	3	1	2	5	3	5	2	1	8
	搬送人員	<b>15</b>	1	0	2	2	0	0	1	1	3	2	0	3

# 応急手当の普及計画

本市においては、119番通報入電から救急車が到着するまでに7分12秒の時間を要しています。大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することによって、救われるものといっても過言ではありません。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習などを年間約200回程度開催しています。

また、毎月1回、第2土曜日に、一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。

さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,200名の応急手当普及員及び指導者がいます。

## 応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習修了者の実績（242回） 4,707人（平成21年中）

講習 実施 月	講習 回数	男女別		修了 者数 計	消 防 防 災 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	そ の 他  (定期 含む)
		男	女									
合 計	242	2394	2313	4707	16	13	20	23	55	6	30	23
1月	14	129	165	294	1	1	0	0	3	4	2	3
2月	22	246	116	362	1	3	0	0	11	2	2	3
3月	20	402	83	485	3	0	1	0	13	0	0	3
4月	8	47	67	114	1	0	0	0	2	2	0	3
5月	13	124	81	205	1	1	2	1	2	2	2	2
6月	56	319	924	1243	7	4	2	21	7	6	3	6
7月	30	233	554	787	3	0	1	13	3	1	3	6
8月	12	141	86	227	2	0	0	0	5	2	1	2
9月	12	169	51	220	2	1	1	0	3	1	2	2
10月	20	266	78	344	1	1	3	0	9	2	2	2
11月	27	221	56	277	6	1	5	0	4	0	7	4
12月	8	97	52	149	2	0	0	0	3	3	0	0

○上級救命講習の実績（9回）

回	実施月	受講対象者	修了者数			
			合 計	男	女	
1	1月	一般公募	27	11	16	
2	3月	四日市医師会 護 学校	20	2	18	
3	3月	四日市医師会 護 学校	18	1	17	
4	4月	日本トランスシティ株式会社	40	21	19	
5	4月	護大学	128	8	120	
6	5月	一般公募	27	14	13	
7	7月	一般公募	30	19	11	
8	7月	県立朝明高校	19	3	16	
9	10月	一般公募	20	17	3	
合 計			9 回	329名	96名	233名

○応急手当普及員講習の実績

コンビナート ・ 一般事業所 市職員・教職員・防災隊・住民・その他	新規講習 4 回 ・ 再講習 6 回 277名（男 202名 ・ 女 75名）
--------------------------------------	--

## 応急手当普及活動による救命率の向上

心肺停止の傷病者に遭遇したとき、すぐそばに居合わせた人（バイスタンダー）が行う心肺蘇生法などの応急手当が、救命率や予後に大きく影響しています。

◎ 救命率とは、救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者のうち、1か月後の生存者の割合

	救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者数	家族等により応急手当が実施されていた傷病者数	そのうち1か月後の生存者数
		家族等により応急手当が実施されていない傷病者数	そのうち1か月後の生存者数
平成12年	222人	42人（18.9%）	2人（4.8%）
		180人（81.1%）	9人（5.0%）
平成13年	204人	69人（33.8%）	2人（2.9%）
		135人（66.2%）	5人（3.7%）
平成14年	219人	53人（24.2%）	0人（0.0%）
		166人（75.8%）	3人（1.8%）
平成15年	242人	76人（31.4%）	6人（7.9%）
		166人（68.6%）	10人（6.0%）
平成16年	261人	71人（27.2%）	5人（7.0%）
		190人（72.8%）	9人（4.7%）
平成17年	272人	76人（27.9%）	1人（1.3%）
		196人（72.1%）	9人（4.6%）
平成18年	263人	53人（20.2%）	1人（1.9%）
		210人（79.8%）	11人（5.2%）
平成19年	278人	99人（35.6%）	5人（5.1%）
		182人（65.5%）	26人（14.3%）
平成20年	318人	130人（40.9%）	9人（6.9%）
		188人（59.1%）	13人（9.9%）
平成21年	276人	111人（40.2%）	2人（1.8%）
		165人（59.8%）	7人（4.2%）

※ 救命率とはウツタイン様式の集計方法に基づく集計に17年度から変更した。  
（心肺停止を目撃された心疾患傷病者の1ヶ月生存者数）

通信 ・ 気象

# 一 目 統 計

平成 21 年中

## 1 1 9 番通報取扱状況

受 信 総 件 数	18,477件
携 帯 電 話 受 信 件 数	7,473件
一日あたりの平均受信件数	50.6件
一日あたりの携帯電話による平均受信件数	20.5件
通 報 件 数 の 多 か っ た 月	8月 1,949件
通 報 件 数 の 少 な っ た 月	2月 1,244件

## 気 象 状 況

最 高 気 温	7月15日	35.7℃
最 低 気 温	1月25日	-2.5℃
最 大 瞬 間 風 速	10月 8日	30.6 m/s
年 間 総 雨 量		1,763.5mm
時間あたりの最大降雨量	8月 2日 (5~6時)	46.5mm
一日あたりの最大降雨量	11月11日	79.5mm
最 多 風 向		西北西
最 少 風 向		東

## 医療情報案内状況

案 内 総 件 数	10,659件
一日あたりの平均案内数	29.2件
案内科目の多い順位	1. 内科 2. 小児科 3. 外科
案内件数の多かった月	10月 1,471件
案内件数の少なかった月	2月 537件

## 指令事務の共同運用

四日市市と桑名市は、「四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会」を設置して、平成19年4月1日から指令事務の共同運用を開始しました。

- 1 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の目的  
地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定に基づき、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、住民の期待と信頼に応えられる消防サービスの高度化を図るため、消防通信指令施設において行う消防通信指令に関する事務を共同して管理し、及び執行する。
- 2 四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の担当事務
  - ・ 災害通報の受信
  - ・ 出動指令
  - ・ 通信統制
  - ・ 情報の収集伝達
- 3 担当事務を執行する施設の名称  
消防指令センター
- 4 消防指令センターの設置場所  
桑名市消防本部内
- 5 共同運用部分の経費の負担割合  
経費の2分の1を国勢調査人口比率、残りの2分の1を消防費基準財政需要額比率とする。
- 6 消防指令センターの管内人口及び面積  
管内人口約56万人・面積約614km<sup>2</sup>
- 7 消防指令センター管内署所数  
17署所
- 8 消防指令センター員の構成状況  
総員 27名  
内訳 四日市市消防本部職員 15名  
桑名市消防本部職員 12名

## 消防通信施設の概要

高機能消防通信指令システムには次の機能を備え、119番通報受付から出動指令までの時間短縮及び消防車・救急車が災害場所に到着するまでの時間短縮を図っています。

- 1 NTT発信地表示システム  
NTTからの119番通報時に、通報者の住所を瞬時に特定し、地図上に通報場所を表示します。
- 2 携帯電話・IP電話の発信者位置情報通知システム  
携帯電話・IP電話からの119番緊急通報時に、音声通話と併せて通報者の発信位置に関する情報が自動的に消防本部に通知され、地図上に表示します。
- 3 車両位置管理システム  
GPS（衛星利用測位システム）機能により、出向している消防車や救急車の走行している位置を把握して、災害場所に近い消防車・救急車に対して出動を指令（直近車両の隊編成）します。
- 4 Eメール・FAX119番緊急通報システム  
音声による119番通報が困難な聴覚障害や言語障害のある方が、携帯電話機やインターネット接続端末機からEメール、又はFAXを利用して火災・救急事案等の緊急通報を受信します。
- 5 消防団への出動指令  
消防団への出動指令は、出動対象分団車庫へファックスによる指令書を送信するとともに、出動対象団員へ電話音声による順次指令とEメール指令を送信します。

119番通報受付取扱状況  
(四日市市消防本部管内)

(平成21年中)

月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
1	34	1047	10	25	22	86	42	153	10		111	1540
2	23	801	7	19	13	70	49	124	13		125	1244
3	44	926	8	19	16	84	88	135	15		143	1478
4	35	851	8	15	10	58	49	95	16	4	133	1274
5	29	883	13	17	24	82	40	113	3		188	1392
6	14	837	12	15	74	83	62	90	12		218	1417
7	15	900	11	18	425	85	31	125	11	2	181	1804
8	15	899	12	7	531	80	32	110	8	1	254	1949
9	40	907	6	21	77	90	58	141	16		172	1528
10	6	1051	3	19	104	90	75	137	10		154	1649
11	12	968	10	18	57	86	103	113	5	44	116	1532
12	15	1025	3	8	87	91	74	146	16	42	163	1670
合計	282	11095	103	201	1440	985	703	1482	135	93	1958	18477

備考 携帯電話からの通報含む。※災害通報には、同報通報を含む。

119番通報受付取扱回線種別状況  
(四日市市消防本部管内)

(平成21年中)

回線種別	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
固定電話	96	6159	26	49	262	456	639	573	13	88	831	9192
IP電話	38	1296	6	18	16	76	37	194	6	5	120	1812
携帯電話	148	3640	71	134	1162	453	27	715	116	0	1007	7473

消防指令センター 119番通報受付取扱状況  
(四日市市消防本部・桑名市消防本部管内別)

(平成21年中)

消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	FAX 119	その他	合計
四日市	282	11095	103	201	1440	985	703	1482	135	93	1958	18477
桑名	250	6999	63	115	128	612	616	1003	65	32	939	10822
合計	532	18094	166	316	1568	1597	1319	2485	200	125	2897	29299

# 通 信 施 設 保 有 状 況

(平成22年4月1日現在)

所属別 区分	消防緊急通信指令施設Ⅲ型	火災報知電話	ホットライン	指令電話	公団	電 話 交 換 機	加入電話(回線)	テレフォンガイド(回線)	消防無線電話			救急無線		消防団無線電話車載	県防災無線電話		市防災行政用無線電話	フックシミ	無線ファクシミリ	携 帯 電 話	
									基 地	移 動		基 地	移 動(車載)		地 上・衛 星	防 災 相 互 波					
										消 防 車 両	そ の 他 車 両										携 帯
合 計	1	12	30	9	1	1	36	15	1	25	23	71	1	12	33	3	12	1	39	1	21
消防本部	1	12	30		1	1	18	15	1		8	8	1		3	5	1	2	1	3	
中消防署				1			4			7	2	16		3		2		1		5	
中央分署				1			1			3	2	6		1		1		1		2	
西分署				1			2			2	2	3		1				1		2	
港分署				1			1				2	2				2		1			
北消防署				1			2			5	3	14		2		1		1		2	
朝日川越分署				1			2			1	1	6		1				1		2	
北西出張所				1			1			1		1		1				1		1	
南消防署				1			4			5	3	13		2		1		1		3	
西南出張所				1			1			1		2		1				1		1	
消防団															33				28		

◎県防災行政無線電話には、衛星可搬型地球局含む。

## 無 線 配 置 状 況

消防本部	
○車載無線(よっかいち)	
指揮車	51
広報車	61. 68. 69. 73. 75
	78
原液運搬車	76
○携帯無線(よっかいち)	
800. 801. 802. 803. 804	
805 810. 820	
○基地局	
よっかいちしょうぼう	
きゅうきゅうよっかいち	
三重県防災行政無線	
(固定局)	
四日市市防災行政無線	
(固定局)	

四日市市消防団	
(よっかいちしょうぼうだん)	
○消防団本部	1. 2
ポンプ車	他31

港分署	
○車載無線(よっかいち)	
広報車	71
水難救助車	45
○携帯無線(よっかいちみなど)	
601. 602	

中消防署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	1
水槽付ポンプ車	5
化学車	8
はしご車	31
高所放水車	35
救助工作車(Ⅲ型)	41
広報車	62. 72
泡原液搬送車	74
○携帯無線(よっかいちなか)	
100. 101. 103. 105. 106	
107. 108. 141. 142. 143	
144. 145. 190. 191. 192	
193	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	1. 7. 9

中央分署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	4
水槽車	11
水槽付ポンプ車	12
広報車	66
トラック	84
○携帯無線(よっかいちちゅうおう)	
700. 701. 702. 703. 704	
790	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	12

西分署	
○車載無線(よっかいち)	
水槽付ポンプ車	7. 14
広報車	70
トラック	82
○携帯無線(よっかいちにし)	
401. 403. 491	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	6

北消防署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	2
水槽付ポンプ車	6
化学車	9
屈折はしご車	32
救助工作車(Ⅱ型)	43
広報車	63. 65
トラック	81
○携帯無線(よっかいちきた)	
200. 201. 202. 203. 204	
205. 206. 207. 208. 241	
242. 290. 291. 292	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	5. 11

北西出張所	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	17
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	4
○携帯無線(よっかいちほくせい)	
295	

朝日川越分署	
○車載無線(よっかいち)	
水槽付ポンプ車	16
広報車	79
○携帯無線(よっかいちあさかわ)	
501. 502. 503. 504. 590	
591	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	8

南消防署	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	3
水槽付ポンプ車	15
化学車	10
高所放水車	34
泡原液搬送車	36
広報車	64. 80
トラック	83
○携帯無線(よっかいちみなみ)	
300. 301. 302. 303. 305	
306. 307. 308. 309. 390	
391. 392. 393	
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	2. 3

西南出張所	
○車載無線(よっかいち)	
ポンプ車	18
○救急無線(きゅうきゅうよっかいち)	
高規格救急車	10
○携帯無線(よっかいちせいなん)	
990	
○携帯無線(よっかいちみなみ)	
304	

## 月別救急医療情報案内状況

三重県救急医療情報システムは昭和57年12月1日に四日市地域ほか5地域でサービスを開始、翌昭和58年12月1日に全県をネットワークして現在に至っています。このシステムは、参加医療機関（病院・診療所）救急医療情報センターとをコンピュータを介して通信回線で結び、救急医療に必要な情報を収集しており、「救急車を呼ぶまでもなく近くの病院等の紹介」を市民等からの問い合わせに対し、迅速に最寄りの医療機関を案内することで、救急医療行政の充実に期するものです。

平成15年10月からは、インターネット（<http://www.qq.pref.mie.jp/>）及び音声・FAXによる自動案内（0800-100-1199通話料無料）により医療機関をさがすことが可能になりました。

（平成21年中）

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
科目別	合計	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
合 計	10659	921	537	601	564	975	613	644	874	1033	1471	1346	1080
内 科	4141	377	183	166	158	326	223	212	313	442	709	555	477
小児科	3153	215	151	175	148	283	156	178	238	223	463	565	358
外 科	985	89	46	72	83	112	88	89	106	84	98	65	53
整形外科	927	80	77	69	71	95	55	66	73	112	78	72	79
産婦人科	78	11	5	6	7	5	3	8	8	5	6	7	7
眼 科	299	36	20	33	22	23	24	28	40	28	21	9	15
耳鼻科	210	17	15	22	10	25	10	12	22	33	17	12	15
皮膚科	144	12	4	8	15	25	6	8	23	20	10	9	4
泌尿器科	112	10	1	6	9	22	4	6	6	18	11	9	10
精神科	14	4	2	0	0	0	2	1	1	2	1	0	1
脳外科	187	12	14	19	15	20	16	13	10	15	20	15	18
循環器科	50	7	3	4	6	0	0	8	3	7	5	4	3
呼吸器科	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0
消化器科	75	5	0	8	5	14	8	2	7	8	5	5	8
歯 科	258	45	15	13	12	23	18	12	23	33	23	16	25
その他	21	1	1	0	3	2	0	0	1	2	3	1	7

医療情報案内 TEL 353-1199

警報・注意報・情報等の発表状況

(平成21年中)

種別		月別												発表回数 計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
警報	暴風警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	暴風雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	大雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洪水警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	波浪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	高潮警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注意報	大雨注意報	1	0	0	3	1	8	16	6	2	2	2	0	41
	大雪注意報	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
	風雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	雷 注意報	1	1	1	4	5	11	18	5	1	3	3	1	54
	強風注意報	1	5	5	7	2	0	0	0	0	3	1	2	26
	融雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	濃霧注意報	2	3	1	1	3	2	3	2	1	1	3	2	24
	乾燥注意報	0	1	4	3	2	0	0	0	0	0	0	2	12
	なだれ注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低温注意報	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	霜注意報	0	0	16	8	1	0	0	0	0	0	0	0	25
	着氷注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着雪注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洪水注意報	1	0	0	3	1	8	16	6	2	2	2	0	41
	波浪注意報	1	1	1	2	0	0	0	1	0	2	0	1	9
高潮注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
計		13	12	28	31	15	29	53	20	6	18	11	11	247

火災気象通報		0	4	7	15	5	0	0	0	0	0	0	4	35
土砂災害警戒情報	四日市市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竜巻注意情報		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

- 注1) 注意報、警報及び火災気象通報は三重県北部を対象に発表された回数を示す。  
 注2) 同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。  
 注3) 土砂災害警戒情報について、川越町は発表対象外です。  
 注4) 竜巻注意情報は、三重県北部地域を対象に発表された回数を示す。

# 気 象 状 況

風速・湿度・気温・風向・降雨量

(平成21年中)

区分		月別	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		年間													
風速(m/s)	平均	2.4	2.5	3.2	3.2	3.1	2.4	2.2	1.8	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	1.1
	最大瞬間	30.6	20.6	19.9	24.9	22.4	19.7	15.2	16.5	16.7	16.3	30.6	17.4	15.0	
湿度(%)	平均	67.7	67.3	62.6	60.1	58.4	67.1	72.0	80.5	73.4	69.4	67.9	69.6	63.7	
	最低	15.3	26.5	25.7	16.0	16.3	15.3	21.5	41.9	36.8	30.6	26.7	36.2	26.8	
気温(°C)	平均	16.8	5.8	7.7	9.5	15.3	20.0	23.5	26.7	27.5	24.2	19.0	13.5	8.5	
	最高	35.7	14.5	18.4	20.7	26.2	33.4	32.1	35.7	35.2	33.4	28.1	23.6	19.5	
	最低	-2.5	-2.5	-0.6	2.7	6.2	11.4	15.2	20.5	20.7	17.4	11.8	4.5	0.6	
気圧(hPa)	平均	1011.4	1016.9	1014.6	1014.9	1011.4	1009.3	1004.8	1005.2	1006.6	1009.8	1012.0	1017.1	1014.3	
	最高	1030.9	1028.6	1024.4	1026.3	1024.4	1024.3	1013.9	1015.2	1014.6	1019.1	1023.2	1030.9	1024.2	
	最低	968.2	995.4	998.0	994.1	993.1	997.2	993.5	994.4	997.7	994.4	968.2	995.7	1001.3	
風向頻度(%)	東	1.7	1.3	1.2	1.6	1.3	2.4	3.6	2.7	1.8	1.1	1.6	1.2	1.1	
	東南東	4.0	1.1	1.3	2.9	4.5	5.6	8.5	6.6	7.3	3.2	3.5	1.2	1.7	
	南東	9.6	2.0	2.2	5.7	12.1	13.9	18.6	20.8	19.7	9.6	6.3	2.3	1.9	
	南南東	4.7	1.1	1.2	2.4	4.5	7.2	9.2	12.0	9.2	5.1	2.7	0.7	0.6	
	南	4.1	1.0	0.9	1.1	4.3	4.8	4.5	7.7	11.5	7.7	4.0	0.8	0.5	
	南南西	1.8	1.4	1.1	0.6	1.8	2.2	2.3	3.2	2.5	3.5	1.4	0.9	0.8	
	南西	1.9	2.4	1.6	1.1	1.4	1.6	2.0	3.4	2.0	3.0	1.8	1.5	1.2	
	西南西	4.7	7.4	4.3	2.3	2.8	3.1	2.8	3.6	1.5	2.6	2.6	5.4	18.5	
	西	7.5	12.8	6.8	4.6	5.4	5.0	3.1	4.2	2.7	4.9	7.3	11.4	21.6	
	西北西	22.0	27.2	30.6	26.2	28.0	16.7	12.4	8.4	16.3	22.8	26.6	28.6	20.2	
	北西	16.4	15.5	25.2	24.1	15.5	17.0	11.9	8.5	12.5	18.3	14.8	19.7	13.4	
	北北西	5.8	6.4	7.1	8.4	5.8	4.6	4.8	4.3	4.0	5.5	6.6	7.1	4.7	
	北	5.2	6.1	5.7	7.8	4.7	5.0	4.5	4.2	2.9	3.9	6.5	6.5	4.5	
	北北東	4.6	5.8	4.5	5.5	3.4	5.0	4.5	3.6	2.6	4.1	7.2	6.0	3.1	
	北東	4.2	5.8	4.6	4.3	3.0	4.0	4.6	4.3	2.3	3.8	5.0	5.1	4.0	
東北東	1.9	2.7	1.7	1.4	1.5	1.9	2.7	2.5	1.2	0.9	2.1	1.6	2.2		
静穏	2.9	2.1	0.9	0.9	0.7	0.9	1.4	1.1	0.5	1.1	1.3	1.6	22.5		
降雨量(mm)	日数	114	11	10	8	5	8	11	21	9	5	9	8	9	
	時間最大	46.5	10.0	6.5	7.5	19.5	10.0	23.0	31.0	46.5	10.0	35.0	16.5	5.5	
	1日最大	79.5	37.5	28.5	42.0	73.0	74.5	51.5	47.5	61.0	20.5	69.0	79.5	37.5	
	合計	1763.5	109.5	82.0	131.5	158.0	158.5	225.5	239.0	169.0	50.0	198.0	192.0	50.5	

予 防

# 一 目 統 計

平成21年度

広報活動		605件
広報催事に対する参加者数		47,751人
立入検査数		2,219件
建築同意数		533件
防火対象物		14,789棟
中高層ビル	4階以上	1,533棟
危険物許可事務処理件数		1,822件
危険物施設数		4,408施設
火災条例に基づく届出件数		5,870件

## 広 報 活 動 状 況

(平成21年度)

種 別	人員／回数	合 計	消防本部	中 署	北 署	朝川分署	南 署
広報車等による宣伝活動	回 数	15	0	4	3	0	4
	人 員	1464	0	9	400	0	1055
防火講演会 座談会	回 数	22	0	10	2	2	8
	人 員	2098	0	807	628	160	503
防火映画会	回 数	32	0	5	16	6	5
	人 員	3295	0	245	1883	732	435
自衛消防隊等訓練指導	回 数	229	0	110	43	31	45
	人 員	25347	0	9104	6599	2853	6791
庁舎見学	回 数	121	0	87	29	1	4
	人 員	3946	0	2072	1602	77	195
防火展	回 数	3	0	2	1	0	0
	人 員	2700	0	200	2500	0	0
防火教室	回 数	46	0	20	11	3	12
	人 員	3623	0	1478	1049	227	869
防災教室	回 数	28	0	11	7	2	8
	人 員	3355	0	1306	928	207	914
地震体験車	回 数	8	0	2	2	1	3
	人 員	1717	0	150	720	250	597
火災予防相談	回 数	101	0	51	30	2	18
	人 員	206	0	96	102	0	8
合 計	回 数	605	0	302	144	48	107
	人 員	47751	0	15467	16411	4506	11367

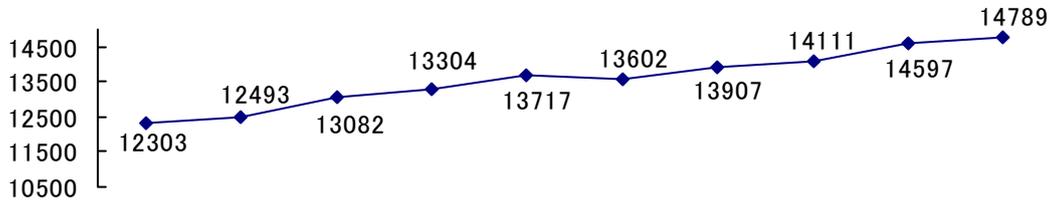
## 広 報 用 印 刷 物

(平成21年度)

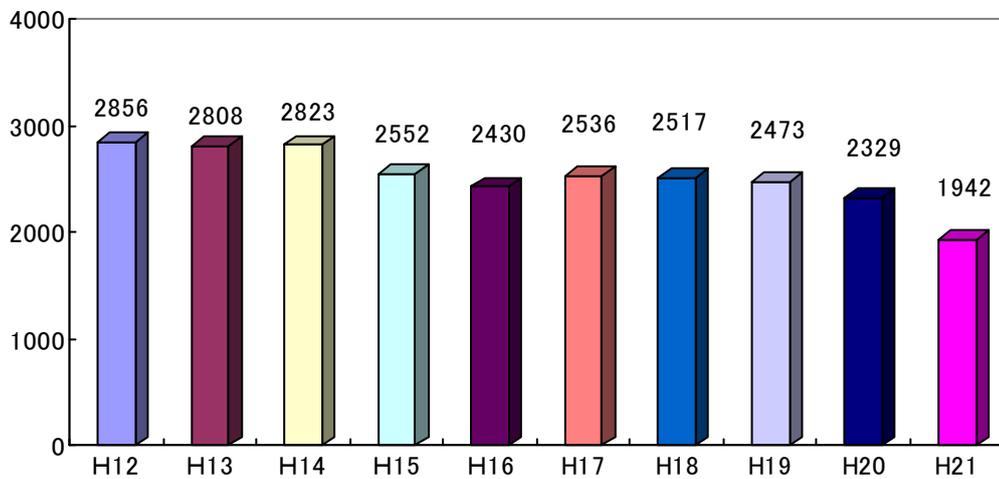
種 別	人員／回数	合 計	消防本部	中 署	北 署	朝川分署	南 署
チラシ	回 数	16	2	4	2	7	1
	部 数	11195	9280	650	320	915	30
ポスター	回 数	3	2	0	1	0	0
	部 数	5650	5250	0	400	0	0
ステッカ	回 数	0	0	0	0	0	0
	部 数	0	0	0	0	0	0
防火だより	回 数	2	2	0	0	0	0
	部 数	282000	282000	0	0	0	0
その他	回 数	0	0	0	0	0	0
	部 数	0	0	0	0	0	0
合 計	回 数	21	6	4	3	7	1
	部 数	298845	296530	650	720	915	30

## 年別建築同意状況及び防火対象物の推移

### 防火対象物



### 建築同意件数



### 建築同意件数

(平成 21 年度)

区分 項目	件 数	
	同 意	不同意
新 築	3 7 5	0
増 築	1 4 5	0
改 築	2	0
移 築	0	0
用途変更	1 1	0
そ の 他	0	0
小 計	5 3 3	0
消防通知	1 4 0 9	0
合 計	1 9 4 2	0

### 消防用設備等届出状況

(平成 21 年度)

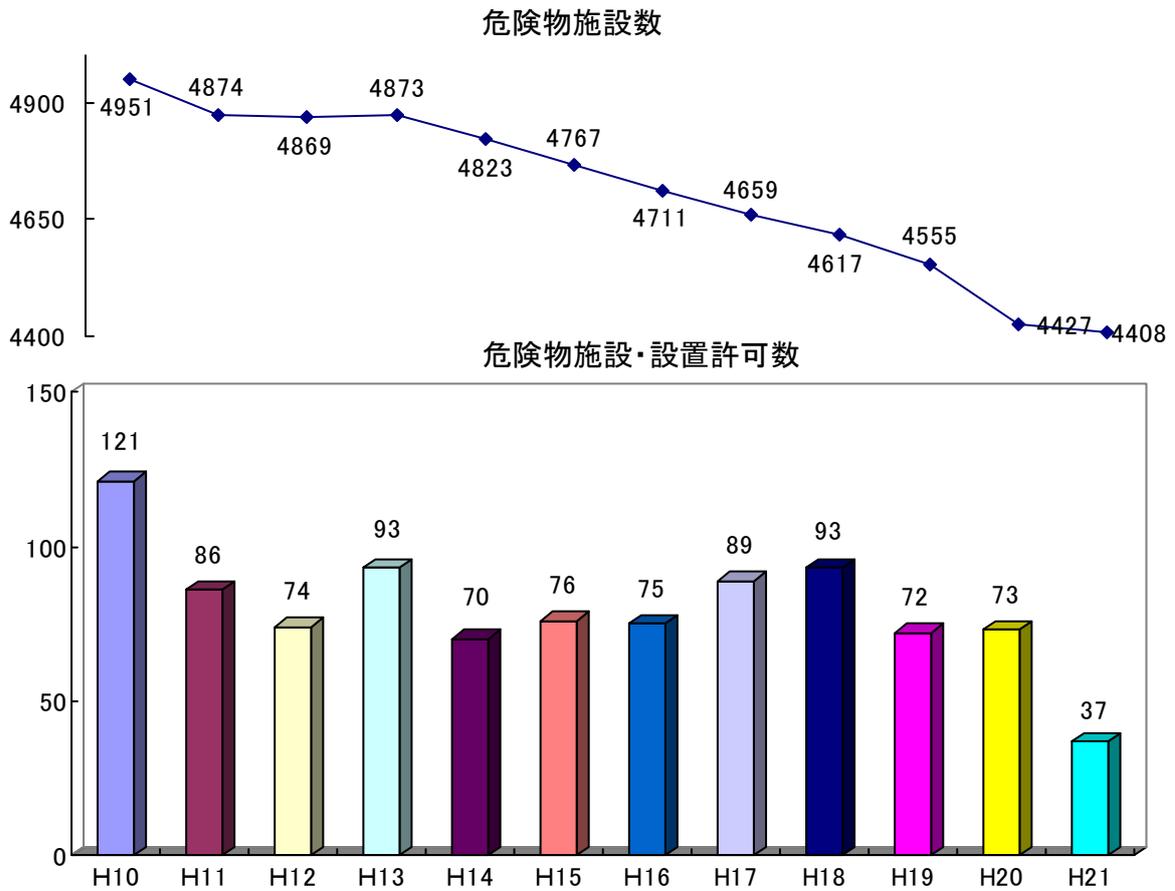
工事計画書	着工届出	設置届出
8 1 件	3 6 0 件	3 5 8 件

### 危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況

(平成 21 年度)

署別 区分	合計	中署	北署	南署
仮 貯 蔵	2 1	2	1 6	3
仮 取 扱	0	0	0	0

## 年別危険物施設・設置許可数及び危険物施設数の推移



## 危険物許可事務処理状況

(平成21年度)

種別	区分	許可		完成検査		廃止	水張検査	水圧検査
		設置	変更	設置	変更			
	合計	37	732	55	739	122	81	56
	製造所	2	200	3	192	3		
貯蔵所	屋内	4	11	5	14	7		
	屋外タンク	9	199	20	208	19		
	屋内タンク	0	0	0	0	0		
	地下タンク	2	5	3	4	8		
	簡易タンク	0	0	1	0	1		
	移動タンク	8	62	8	63	53		
	屋外	3	2	5	2	5		
取扱所	給油	1	26	2	22	8		
	販売	0	0	0	0	0		
	移送	0	38	0	36	0		
	一般	8	189	8	198	18		

平成21年度

火災予防条例に基づく届出事務処理状況

区分	署別	合計	本部	中署	西分署	中央分署	港分署	北署	朝川分署	南署
防火対象物使用開始届		320	0	97	7	34	0	61	29	92
防火管理者選解任届		577	0	201	12	65	0	99	47	153
消防計画作成(変更)届		651	0	210	17	70	0	113	52	189
共同防火管理協議事項作成(変更)届		11	0	11	0	0	0	0	0	0
消火・避難訓練実施計画書		587	0	174	21	79	0	133	54	126
工事中の消防計画届		3	0	1	0	0	0	0	2	0
防火対象物定期点検報告		121	0	37	4	11	0	22	14	33
防火対象物点検報告特例認定申請		5	0	3	0	0	0	0	1	1
消防用設備等設置届		358	35	114	7	21	0	57	25	99
消防用設備等着工届		360	77	101	6	27	0	42	30	77
消防用設備等の特例適用願い		14	8	2	2	0	0	0	0	2
消防用設備等点検結果報告		2175	0	771	53	169	0	419	168	595
炉		7	0	2	0	1	0	1	1	2
厨房設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
温風暖房機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボイラー		15	0	3	0	0	0	3	0	9
給湯湯沸設備		6	0	2	0	0	0	0	1	3
乾燥設備		3	0	0	0	0	0	1	0	2
サウナ設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒートポンプ冷暖房機		2	0	2	0	0	0	0	0	0
火花を生じる設備		0	0	0	0	0	0	0	0	0
放電加工機		1	0	0	0	0	0	1	0	0
発電設備		12	0	2	0	2	0	2	1	5
変電設備		67	0	12	2	4	0	12	16	21
蓄電池設備		32	1	10	1	3	0	5	5	7
ネオン管灯設備		1	0	1	0	0	0	0	0	0
指定洞道		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水素ガス気球届		0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱風炉		0	0	0	0	0	0	0	0	0
少量危険物		143	0	14	2	45	0	25	3	54
指定可燃物		134	0	23	0	4	0	44	1	62
圧縮アセチレンガス		46	0	2	0	13	0	10	0	21
液化石油ガス		121	0	30	1	11	0	37	18	24
無水硫酸		1	0	0	0	0	0	0	0	1
生石灰		0	0	0	0	0	0	0	0	0
毒物		7	0	1	0	5	0	1	0	0
劇物		13	0	2	0	5	0	0	0	6
火薬類		4	0	3	0	0	0	1	0	0
高压ガス		0	0	0	0	0	0	0	0	0
喫煙届		0	0	0	0	0	0	0	0	0
裸火		36	0	27	0	0	0	9	0	0
危険物品持込		37	0	27	0	0	0	8	1	1

平成21年度

防火対象物状況(階層別)

平成22年4月1日現在

階層の別	政令別表項目別	合計	1		2				3		4	5				6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェ	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院・診療所	老人短期入所・特別養護老人ホーム等	老人デイサービス等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地	三準地	文	延長50m以上のアーケード		
合計		14789	20	292	0	44	0	11	11	500	644	65	3595	210	65	193	78	448	8	9	19	13	316	3022	0	161	0	2071	1962	792	215	0	0	6	19		
地上階	1階	5186	0	166	0	13	0	4	2	215	356	8	91	39	24	110	41	162	1	4	15	8	248	1457	0	113	0	1394	637	40	16	0	0	3	19		
	2階	6269	12	111	0	27	0	6	8	197	215	15	2195	109	20	69	31	87	4	4	4	4	60	1268	0	36	0	579	858	258	89	0	0	3	0		
	3階	1801	5	13	0	2	0	0	0	46	49	14	591	36	9	5	5	142	2	1	0	1	7	202	0	4	0	73	315	239	40	0	0	0	0		
	4階	735	2	1	0	2	0	1	0	26	16	3	324	10	9	2	1	38	0	0	0	0	0	54	0	3	0	17	86	119	21	0	0	0	0		
	5階	371	0	1	0	0	0	0	1	11	6	4	195	7	1	3	0	13	0	0	0	0	1	24	0	1	0	7	30	44	22	0	0	0	0		
	6階	122	0	0	0	0	0	0	0	3	1	7	39	3	2	3	0	2	1	0	0	0	0	13	0	0	0	1	14	25	8	0	0	0	0		
	7階	84	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	28	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	7	27	7	0	0	0	0		
	8階	75	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	32	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	11	14	4	0	0	0	0		
	9階	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	5	0	0	0	0		
	10階	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2	0	0	0	0		
	11階	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0		
	12階	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		
	13階	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	14階	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0		
	15階	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0		
	16階以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
上記のうち地階を有するもの	地下1階	251	2	6	0	0	0	0	0	10	4	8	32	11	4	1	4	5	1	1	0	1	1	15	0	1	0	4	87	50	3	0	0	0	0		
	地下2階	16	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0			

平成21年度

防火対象物状況(消防用設備別)

平成22年4月1日現在

設備等の別	政令別表項目別	合計	1		2		3		4	5		6		7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		17	18							
			イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ			イ	ロ					
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院・診療所	ホ老人短期入所・特別養護老人ホーム	ハ老人デイサービス等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	イ①④⑤⑥⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	16二地	16三準地	17文	18延長50m以上のアーケード	
防火対象物合計			14789	20	292	0	44	0	11	11	500	644	65	3595	210	65	193	78	448	8	9	19	13	316	3022	0	161	0	2071	1962	792	215	0	0	6	19
消防用設備等を要する防火対象物の別	屋内消火栓設備を要するもの	1289	11	14	0	6	0	1	2	4	40	21	126	13	14	12	9	139	1	2	0	1	1	423	0	5	0	255	127	53	9	0	0	0	0	
	スプリンクラー設備を要するもの	148	5	0	0	3	0	0	0	2	22	2	28	10	24	1	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	20	3	14	0	0	0	0	0	
	水噴霧等消火設備を要するもの	196	1	1	0	2	0	1	0	0	22	4	9	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	46	0	55	0	6	29	11	4	0	0	0	0	
	屋外消火栓設備を要するもの	377	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190	0	1	0	144	25	1	0	0	0	0	0	
	動力消防ポンプを要するもの	93	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	47	0	0	0	28	8	2	1	0	0	0	0	
	自動火災報知設備を要するもの	4472	14	65	0	28	0	8	6	111	276	41	807	91	44	98	44	242	4	5	2	2	7	1073	0	38	0	666	401	336	59	0	0	4	0	
	ガス漏れ火災警報設備を要するもの	11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	漏電火災警報器を要するもの	30	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	14	0	2	4	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	
	消防機関へ通報する火災報知設備を要するもの	484	3	5	0	5	0	5	0	2	15	37	56	52	40	66	6	7	0	1	1	0	0	37	0	3	0	17	20	92	14	0	0	0	0	
	非常警報設備を要するもの	1439	12	137	0	24	0	4	1	154	147	19	216	52	17	30	20	176	3	6	5	0	28	43	0	3	0	9	183	137	13	0	0	0	0	
	避難器具を要するもの	1096	4	20	0	9	0	3	1	57	19	19	449	25	17	19	21	132	2	1	0	0	4	10	0	1	0	2	111	132	38	0	0	0	0	
	誘導灯を要するもの	2870	15	147	0	32	0	10	8	301	433	44	139	162	50	99	39	71	3	8	7	1	19	283	0	23	0	168	384	378	45	0	0	1	0	
	消防用水を要するもの	84	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	9	7	6	0	0	0	0	0	
	排煙設備を要するもの	28	2	0	0	2	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	8	0	0	0	0	0	
連結散水設備を要するもの	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0		
連結送水管を要するもの	300	1	0	0	0	0	0	0	1	3	12	143	10	1	1	0	4	1	0	0	0	0	4	0	6	0	2	27	49	17	0	0	0	18		
非常コンセント設備を要するもの	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	1	0	0	0	0		
無線通信補助設備を要するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
重要防火管理の火事別対	甲種防火対象物	2114	9	74	0	26	0	7	6	115	225	39	333	38	37	84	30	94	4	5	2	2	16	193	0	52	0	155	296	236	35	0	0	1	0	
乙種防火対象物	542	0	92	0	2	0	1	1	168	51	2	20	4	0	6	4	11	0	1	2	1	11	5	0	3	0	1	20	126	10	0	0	0	0		
共同防火管理を要するもの	160	0	1	0	0	0	0	0	13	4	1	12	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	7	0	1	6	102	11	0	0	0	0		

地区の別	政令別表項目別	合計	1		2				3		4		5				6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー等	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	病院・診療所	老人短期入所・特別養護老人ホーム等	老人デイサービス等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	①③④⑤イ⑥⑨イが存する複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	二地下街	三地下街	文庫	延長50m以上のアーケード			
			イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ
合計		14789	20	292	0	44	0	11	11	500	644	65	3595	210	65	193	78	448	8	9	19	13	316	3022	0	161	0	2071	1962	792	215	0	0	6	19			
中消防署管内	小計	5545	1	102	0	17	0	7	10	303	302	36	1436	102	20	67	30	154	2	5	5	4	90	713	0	91	0	653	724	532	120	0	0	0	19			
	共同	691	0	3	0	2	0	0	1	111	63	11	72	5	1	3	2	9	0	1	3	0	10	16	0	22	0	28	67	217	29	0	0	0	15			
	同和	18	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0			
	中央	148	0	1	0	0	0	0	4	7	6	2	11	7	0	1	0	6	0	0	1	1	7	7	0	3	0	9	40	27	4	0	0	0	4			
	港	330	0	6	0	0	0	0	1	4	3	2	22	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	63	0	3	0	133	79	3	6	0	0	0	0			
	浜田	1023	1	4	0	4	0	0	0	24	38	10	209	12	1	7	1	21	1	0	0	0	8	128	0	41	0	152	184	136	41	0	0	0	0			
	常盤	1075	0	21	0	3	0	2	1	55	74	6	543	23	3	13	6	13	1	1	1	1	13	62	0	6	0	59	82	71	15	0	0	0	0			
	橋北	323	0	3	0	0	0	0	0	6	10	1	51	4	2	3	2	10	0	0	0	0	2	82	0	4	0	78	45	12	8	0	0	0	0			
	海蔵	541	0	2	0	2	0	1	0	10	18	0	169	7	1	6	1	10	0	1	0	1	8	147	0	0	0	99	39	15	4	0	0	0	0			
	三重	602	0	16	0	2	0	2	1	46	38	2	192	19	3	15	5	22	0	2	0	0	15	80	0	1	0	49	64	23	5	0	0	0	0			
	神前	160	0	10	0	1	0	0	0	6	11	1	22	5	2	3	1	31	0	0	0	0	6	25	0	3	0	8	18	6	1	0	0	0	0			
川島	145	0	6	0	1	0	0	0	10	11	0	56	8	1	5	3	5	0	0	0	0	8	7	0	0	0	3	12	7	2	0	0	0	0				
県	225	0	10	0	1	0	0	0	6	4	0	42	3	2	3	3	12	0	0	0	0	6	58	0	2	0	20	45	5	3	0	0	0	0				
桜	264	0	19	0	1	0	2	1	17	24	1	43	8	3	6	5	15	0	0	0	1	7	36	0	6	0	13	45	9	2	0	0	0	0				
北消防署管内	小計	4466	14	89	0	8	0	2	0	104	164	13	1198	48	17	51	22	147	5	1	9	5	85	1167	0	28	0	609	495	141	43	0	0	1	0			
	富田	457	0	9	0	0	0	0	0	4	26	0	143	8	4	4	2	24	0	1	4	2	10	61	0	4	0	60	53	31	7	0	0	0	0			
	羽津	1121	7	9	0	3	0	1	0	23	51	1	245	13	2	12	4	19	0	0	0	1	12	391	0	4	0	154	136	29	4	0	0	0	0			
	富洲原	336	0	8	0	2	0	0	0	18	14	5	63	5	0	4	4	9	0	0	2	1	4	98	0	8	0	48	25	15	3	0	0	0	0			
	大矢知	560	0	12	0	0	0	0	0	12	17	0	280	6	2	3	4	7	0	0	0	0	15	80	0	1	0	74	24	20	2	0	0	1	0			
	八郷	357	0	12	0	0	0	0	0	6	7	0	72	4	1	5	4	36	1	0	0	0	7	112	0	1	0	30	39	14	6	0	0	0	0			
	下野	173	0	10	0	0	0	0	0	8	9	0	56	2	2	4	1	10	0	0	0	0	4	33	0	0	0	14	15	4	1	0	0	0	0			
	保々	206	1	9	0	0	0	0	0	2	3	0	39	0	0	3	2	15	0	0	0	0	7	57	0	0	0	35	28	4	1	0	0	0	0			
	川越町	916	5	11	0	3	0	1	0	18	21	7	228	4	3	11	1	19	1	0	2	1	15	247	0	10	0	152	127	15	14	0	0	0	0			
朝日町	340	1	9	0	0	0	0	0	13	16	0	72	6	3	5	0	8	3	0	1	0	11	88	0	0	0	42	48	9	5	0	0	0	0				
南消防署管内	小計	4778	5	101	0	19	0	2	1	93	178	16	961	60	28	75	26	147	1	3	5	4	141	1142	0	42	0	809	743	119	52	0	0	5	0			
	塩浜	963	0	7	0	2	0	0	0	8	20	3	90	1	2	9	1	14	0	0	3	2	14	312	0	9	0	203	231	20	12	0	0	0	0			
	日永	1102	4	17	0	7	0	2	0	40	79	1	322	24	4	17	3	48	1	1	1	1	22	174	0	12	0	150	131	32	9	0	0	0	0			
	河原田	627	0	6	0	4	0	0	1	5	20	1	63	0	3	3	0	15	0	0	0	0	12	203	0	7	0	156	118	6	4	0	0	0	0			
	四郷	506	0	21	0	1	0	0	0	19	17	1	219	12	7	17	16	37	0	0	0	0	24	37	0	0	0	25	20	23	9	0	0	1	0			
	内都	477	0	11	0	3	0	0	0	10	17	3	111	9	5	15	4	14	0	1	0	0	25	100	0	7	0	82	45	10	5	0	0	0	0			
	小山田	224	0	11	0	1	0	0	0	5	10	0	6	1	4	6	0	7	0	1	1	0	24	81	0	1	0	18	39	4	4	0	0	0	0			
	水沢	240	0	9	0	0	0	0	0	3	2	6	12	7	2	3	0	3	0	0	0	0	8	62	0	0	0	45	76	2	0	0	0	0	0			
楠	639	1	19	0	1	0	0	0	3	13	1	138	6	1	5	2	9	0	0	0	1	12	173	0	6	0	130	83	22	9	0	0	4	0				

数量・類別危険物施設設置状況

平成22年4月1日現在

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所									取扱所						事業所数		
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	14kℓを越える被率引車	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所		特定移送取扱所	一般取扱所
許可施設数	今年度末数	4408	127	3441	374	1820	335	65	181	21	851	239	129	840	236	5	0	64	0	535	798
数量別	5倍以下	635	6	520	128	122	0	42	81	21	95	4	31	109	6	1	0	0	0	102	
	5倍を越え10倍以下	505	13	357	64	133	0	11	39	0	72	4	38	135	26	3	0	0	0	106	
	10倍～50倍	1058	17	820	81	491	0	12	46	0	140	12	50	221	95	1	0	2	0	123	
	50倍～100倍	791	14	690	23	191	0	0	5	0	469	156	2	87	15	0	0	1	0	71	
	100倍～150倍	255	7	217	25	127	0	0	6	0	59	55	0	31	16	0	0	2	0	13	
	150倍～200倍	111	5	76	10	55	3	0	2	0	2	0	7	30	18	0	0	2	0	10	
	200倍～1,000倍	522	31	362	28	317	62	0	2	0	14	8	1	129	58	0	0	6	0	65	
	1,000倍～5,000倍	240	19	179	8	171	73	0	0	0	0	0	0	42	2	0	0	14	0	26	
	5,000倍～10,000倍	81	4	67	3	64	56	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	3	0	7	
10,000倍を越えるもの	210	11	153	4	149	141	0	0	0	0	0	0	46	0	0	0	34	0	12		
類別	単	第1類	6	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
	第2類	22	1	18	7	11	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	2	
	第3類	43	1	34	4	30	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
	第4類	4148	99	3276	305	1748	333	65	181	21	832	238	124	773	236	2	0	59	0	476	
	第5類	12	0	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	第6類	54	0	51	1	31	2	0	0	0	19	1	0	3	0	0	0	1	0	2	
混在	123	26	47	42	0	0	0	0	0	0	0	5	50	0	3	0	3	0	44		

### 地区別危険物施設設置状況

平成22年4月1日現在

地区別	区分	合計	製造所	貯蔵所								その他				
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	販売	移送	一般
合計		4408	127	3441	374	1820	65	181	21	851	129	840	236	5	64	535
中消防署管内	小計	813	20	618	56	241	26	70	8	195	22	175	70	2	14	89
	共同	13	0	9	0	0	2	7	0	0	0	4	2	1	0	1
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	15	0	14	4	0	0	3	0	7	0	1	1	0	0	0
	港	323	6	275	18	110	4	4	0	125	14	42	8	0	2	32
	浜田	102	2	79	8	4	4	22	1	37	3	21	13	0	0	8
	橋北	166	10	121	9	108	0	2	0	1	1	35	6	1	12	16
	海蔵	25	0	21	2	2	2	4	0	11	0	4	3	0	0	1
	常磐	32	0	19	3	5	0	11	0	0	0	13	5	0	0	8
	川島	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	神前	18	0	10	3	0	0	4	0	0	3	8	6	0	0	2
	桜	14	0	10	2	0	0	4	2	2	0	4	4	0	0	0
	県	30	0	17	1	5	1	5	1	4	0	13	5	0	0	8
三重	71	2	42	6	6	13	4	4	8	1	27	14	0	0	13	
北消防署管内	小計	1262	41	990	108	445	27	54	8	292	56	231	76	0	18	137
	羽津	518	27	394	43	262	5	6	1	59	18	97	11	0	17	69
	富田	55	0	47	7	1	3	9	2	16	9	8	7	0	0	1
	富洲原	69	2	55	7	3	3	5	0	30	7	12	9	0	0	3
	大矢知	39	0	25	13	4	3	3	0	1	1	14	5	0	0	9
	八郷	21	0	14	4	0	5	1	1	3	0	7	6	0	0	1
	下野	10	0	8	3	2	0	2	1	0	0	2	1	0	0	1
	保々	26	1	16	7	3	0	2	1	1	2	9	5	0	0	4
	朝日町	46	0	28	8	13	2	0	1	2	2	18	6	0	0	12
川越町	478	11	403	16	157	6	26	1	180	17	64	26	0	1	37	
南消防署管内	小計	2333	66	1833	210	1134	12	57	5	364	51	434	90	3	32	309
	塩浜	1059	36	841	69	592	5	12	1	145	17	182	15	0	28	139
	日永	432	12	339	41	228	3	13	1	39	14	81	15	2	1	63
	四郷	22	0	10	4	2	0	1	0	3	0	12	6	0	0	6
	内部	72	1	42	8	6	0	8	1	17	2	29	19	0	0	10
	河原田	400	13	320	58	206	2	2	1	42	9	67	13	1	2	51
	小山田	108	1	86	5	28	1	10	1	39	2	21	9	0	0	12
	水沢	33	0	26	1	17	0	5	0	3	0	7	4	0	0	3
楠町	207	3	169	24	55	1	6	0	76	7	35	9	0	1	25	

### 33. 事業所等別危険物施設状況

平成22年4月1日現在

区分 施設		合計	コンビナート				その他		
			小計	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	小計	その他	
合計		4408	2168	1467	314	387	2240	2240	
製造所		127	98	55	16	27	29	29	
貯蔵所	小計	3441	1676	1147	246	283	1765	1765	
	屋内	374	161	118	15	28	213	213	
	屋外タンク	1820	1442	983	216	243	378	378	
	屋内タンク	65	4	4	0	0	61	61	
	地下タンク	181	6	4	2	0	175	175	
	簡易タンク	21	0	0	0	0	21	21	
	移動タンク	851	5	3	0	2	846	846	
	屋外	129	58	35	13	10	71	71	
取扱所	小計	840	394	265	52	77	446	446	
	給油	営業用	100	0	0	0	0	100	100
		自家用	136	4	3	0	1	132	132
	販売	5	0	0	0	0	5	5	
	移送	64	63	32	14	17	1	1	
	一般	535	327	230	38	59	208	208	

## コンビナート概要

事業所数

(平成22年4月1日現在)

事業所種別	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
第1種事業所	4社5事業所	2社3事業所	7社7事業所	38社48事業所
第2種事業所	12社14事業所	2社2事業所	3社3事業所	
その他事業所	6社6事業所	5社5事業所	4社4事業所	
計	22社25事業所	9社10事業所	14社14事業所	

※同一社において事業者別又はコンビナート地区が異なるときは、各該当欄へ記載しているため、合計数としての社数とは一致しない。

石油等の貯蔵取扱量及び高圧ガス処理量

石油等区分	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	計
石油貯蔵量	3,539,069 kℓ	1,417,174 kℓ	190,921 kℓ	5,147,164 kℓ
石油取扱量	881,573 kℓ	869,918 kℓ	72,054 kℓ	1,823,545 kℓ
石油合計量	4,420,642 kℓ	2,287,092 kℓ	262,975 kℓ	6,970,709 kℓ
高圧ガス処理量	291,797,271 m <sup>3</sup> /D	62,518,572 m <sup>3</sup> /D	219,138,866 m <sup>3</sup> /D	573,454,709 m <sup>3</sup> /D

## 特定防災施設

消火用屋外給水施設設置状況

設置事業所数	種別	合計	
	消火栓単独施設	貯水単独槽施設	
22	22		22

流出油等防止堤設置状況

事業所数 及び ブロック数	対象タンク 数及び 合計容量	ブロックの 最大収容 容量	収容タンク 数	収容タンク の総容量	法定堤 内容量	堤内容量	堤の総延長
3社 10ブロック	98基 4,292,690 kl	648,930 kl	241 基	4,816,501 kl	639,978 kl	891,684.3 kl	15.346 km

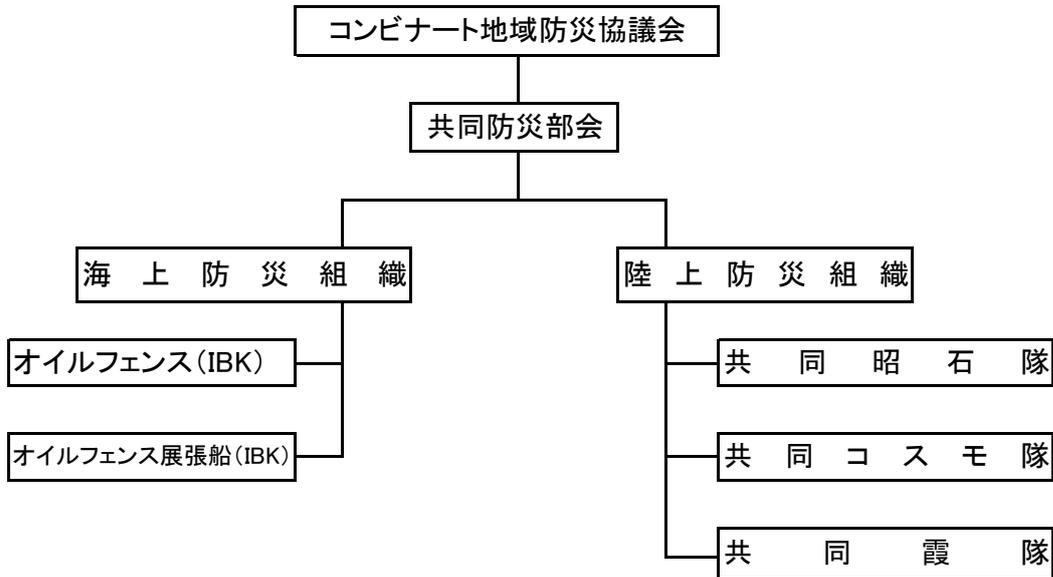
非常通報設備(ホットライン)加入事業者

区	分	全体事業所数	加入事業所数
第1種事業所		15	12
第2種事業所		19	16
その他種事業所		15	3
合	計	49	31

# コンビナート防災体制

(共同防災体制)

(平成22年4月1日現在)



(1) 海上防災組織防災隊員(計)

総数	9人
船舶乗組員	4人
その他の防災要員	5人

(1) 陸上防災組織防災隊員(計)

総数	62人
指揮者・機関員	33人
その他の防災要員	29人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス:	B型 1,080m
オイルフェンス展張船:	1隻

(2) 防災資機材(計)

2点セット	3セット
消火原液	33.5kℓ

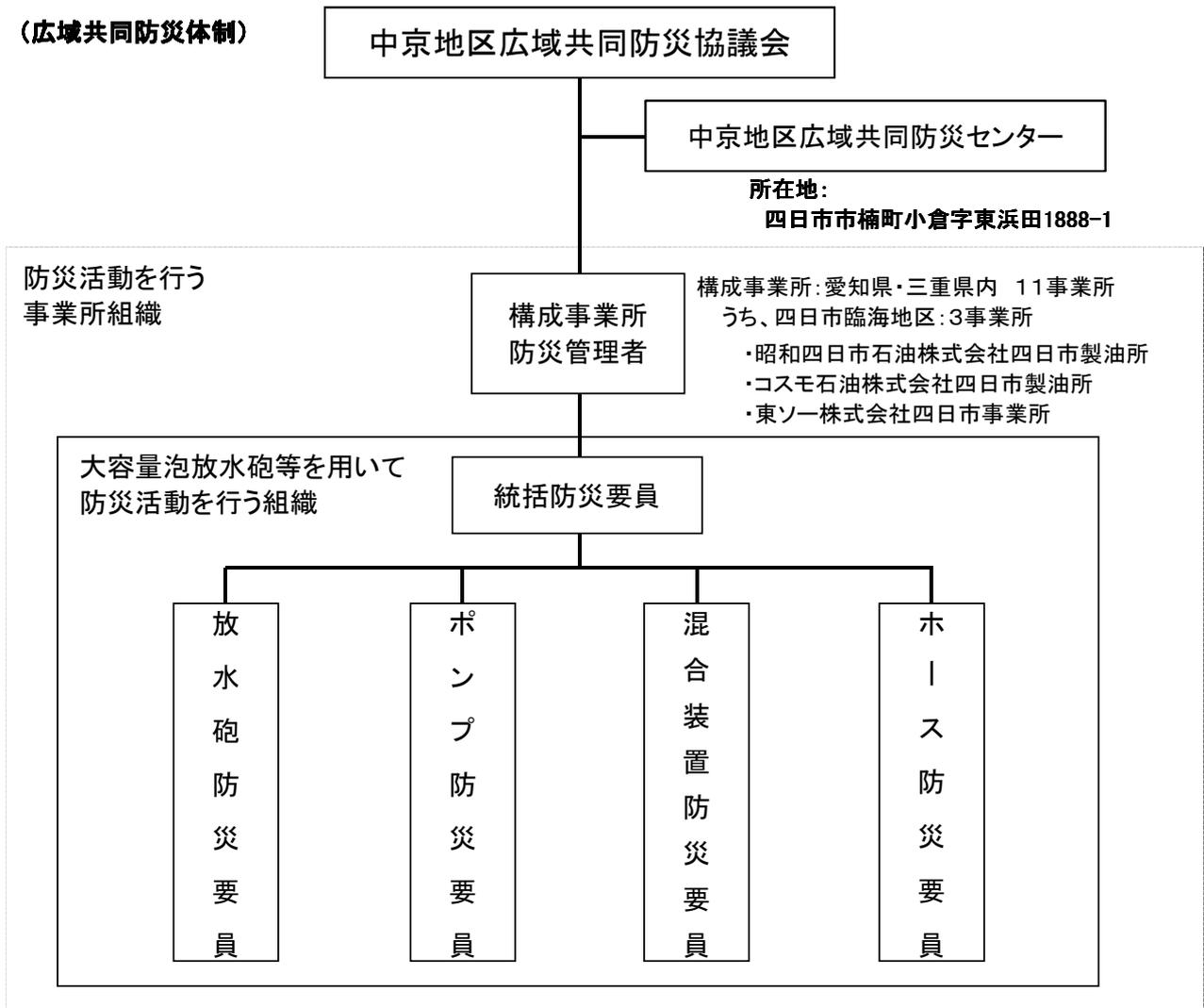
(自衛消防体制)

(1) 防災隊員(計)

総数	1,400人
専任	180人
兼任	1,220人
船舶隊員	8人

海上陸上	オイルフェンス展張船:	2隻	
	油回収船・油回収装置付:	2隻	
	オイルフェンス:	17,394m	
	油理処剤	乳化分散型:	37.8kℓ
		吸着マット:	19,853kg
	化学消防車(3点セット除く):	13台	
	その他消防車(上記除く):	6台	
泡原液:	147.4kℓ		

(広域共同防災体制)

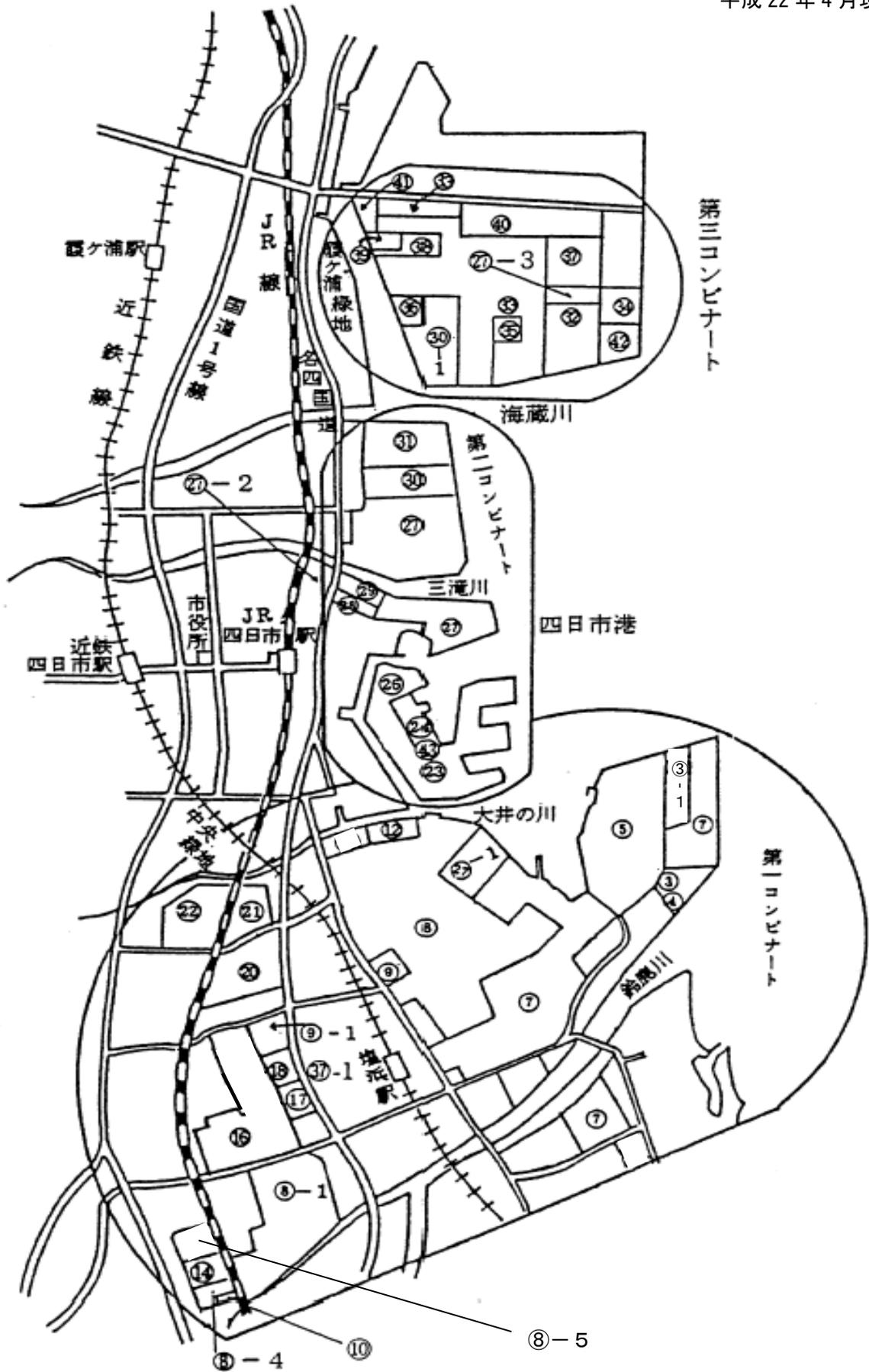


防災資機材の備付状況

項 目	数 量	要 目	備 付 場 所
放水砲	2砲	ノンアスピレート型 10,000~30,000L/min 可変ノズル2基	中京地区広域 共同防災センター
水中ポンプ	2ユニット	水中ポンプ(4台/1ユニット) 公称能力30,000L/min(1ユニット)	中京地区広域 共同防災センター
加圧ポンプ	4台	公称能力30,000L/min/台	中京地区広域 共同防災センター
ホース	2730m	12B・リール式 150m×14セット (150m未満のホース含む)	中京地区広域 共同防災センター
耐熱服	4着	KA-2000 東消型フードエプロンタイプ 呼吸器内蔵型	中京地区広域 共同防災センター
空気呼吸器	4個	A1F(CX)-815FZ ゲージ内蔵型	中京地区広域 共同防災センター
泡消火薬剤	74kl	メガフォームCV-1 (AR-AFFF 1%型)	中京地区広域 共同防災センター
消火薬剤用 仮設タンク	2個	ET-20 20KL	中京地区広域 共同防災センター

# 四日市臨海地区事業所配置図

平成 22 年 4 月現在



〔第3コンビナート〕

27-3	コスモ石油(株)四日市霞発電所
32	四日市エルピージー基地(株)霞事業所
33	東ソー(株)四日市事業所
34	中部電力(株)四日市LNGセンター
30-1	協和発酵ケミカル(株)四日市工場 霞ヶ浦製造所
35	日本ポリプロ(株)四日市工場
36	上野製薬(株)四日市工場
37	BASFジャパン(株)四日市事業所
38	丸善石油化学(株)四日市工場
39	四日市オキシトン(株)四日市工場
40	DIC(株)四日市工場
41	霞共同事業(株)
42	東邦ガス(株)四日市工場

〔第2コンビナート〕

23	第一工業製薬(株)四日市事業所
24	日本板硝子(株)四日市工場
26	宮木(株)四日市油槽所
27	コスモ石油(株)四日市製油所
27-2	コスモ石油(株)第一陸上出荷場
28	コスモ石油販売(株)三重カンパニー
29	昭和炭酸(株)四日市工場
30	協和発酵ケミカル(株)四日市工場 午起製造所
31	中部電力(株)四日市火力発電所
43	Avan Strate(株)四日市工場

〔第1コンビナート〕

3	三菱マテリアル(株)四日市工場
3-1	三菱マテリアル(株)四日市工場 第2プラント
4	日本アエロジル(株)四日市工場
5	石原産業(株)四日市工場
7	昭和四日市石油(株)四日市製油所
27-1	コスモ石油(株)塩浜油槽所
8	三菱化学(株)四日市事業所 塩浜地区
8-1	三菱化学(株)四日市事業所 川尻地区
8-4	三菱化学(株)四日市事業所 大治田地区
8-5	三菱化学(株)四日市事業所 北大治田地区
9	四日市合成(株) 四日市
9-1	四日市合成(株) 六呂見
10	(株)ロンビック大治田工場

12	日本トランスシティ(株) 東邦町タンクヤード
14	ライオンアクゾ(株)四日市工場
16	JSR(株)四日市工場
37-1	BASFジャパン(株)六呂見工場
17	東邦化学工業(株)四日市工場
18	(株)JSP四日市第一工場
20	味の素(株)東海事業所
21	パナソニック電工(株)四日市工場
22	三菱ガス化学(株)四日市工場

消 防 団

## 四 日 市 市 消 防 団 の 沿 革

江戸時代	各村に火の番所が設けられ、五人組という自治制度のもとに防火、消防活動が行われていた。また、江戸や城下町には町火消が組織されていた
明治19年	四日市に初めて火防組が組織される 消防夫59人
明治20年	火防組12組消防夫864 人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組消防夫1,309 人となる
明治27年 2月	勅令をもって消防規制が公布される 消防組規制により、消防組の全国的な統一が行われる
明治28年 12月26日	各町自警消防組を統一し、新たに四日市消防組として発足 四日市町消防組 第1番組川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第2番組西町、久六町、比丘尻町、堅町 南町、北町、上新町（共同地区） 第3番組中町、境町、八幡町、中新町 四ツ谷新町、南新町、（同和地区） 第4番組浜町、北条町、下新町、新丁、（同盟地区） 第5番組蔵町、北納屋町、中納屋町 桶ノ町、袋町、高砂町、稲葉町、南納屋町（港地区） 第6番組浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員 組頭1人 小頭6人 消防手193人 合計200人 配備器具 ポンプ6 大水桶12 小水桶64 梯子6 鷹口31 刺又6 釣13 斧6 大縄6 纏6 旗6 高張提灯6 弓張提灯62 消火札6
明治30年	市政実施とともに四日市消防組も市に引き継がれる
大正6年 10月	第5番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年 1月	全ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組（海蔵地区）第8番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年 1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切り換えを強行し、警防団令を發布した
昭和14年 4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員622人（内本部消防部16人） 分団に警護、消防、救護の3部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和16年 10月3日	富田、富洲原両町の警防団を合体し、四日市北警防団を結成 四日市北警防団は、本部を富田警察署に置く 6分団 定員363人 自動車ポンプ2台 ガソリンポンプ4台 腕用ポンプ3台 羽津、常磐、日永の各村警防団は四日市警防団の第9.10.11分団として本市に引き継がれた
昭和17年 8月	四日市警防団第5分団（港地区）に海上部を設置
昭和18年 6月	海上部を四日市警防団海上分団とし、発動機船2、消防艇1、短艇4を装備した
昭和18年	四郷、内部両村が併合され四日市市には2警防団20分団になる
昭和22年 9月	新消防団令に基づき、四日市市消防団と四日市市北消防団が組織され再出発した 四日市市消防団 本部と7分団 725人編成 初代団長 九鬼紋十郎氏 四日市市北消防団 富田、富洲原地区を区域とする 6分団 225人編成 初代団長 大野正平氏
昭和23年 2月29日	消防組織法の施行により、四日市市消防団と四日市市北消防団を四日市市消防団として一本化した 初代消防団長 九鬼紋十郎氏

昭和24年 8月11日	2代目四日市市消防団長に大野正平氏就任
昭和26年 4月1日	四日市市消防団は消防団本部と橋北、港、中部、海蔵、塩浜、羽津、常磐、日永、四郷、内部、富田、富洲原、海上の13分団 四日市市消防団の定員 716名
昭和27年	四日市市消防団の定員 718名
昭和28年	四日市市消防団の定員 646名
昭和29年 3月	小山田村が合併され、小山田村消防団が四日市市消防団に編入
昭和29年 7月	市町村の合併により、河原田、神前、川島、桜、県、三重、大矢知、八郷、下野の9分団が増加し、23分団 四日市市消防団の定員 1,156名
昭和32年	市町村の合併により、保々、水沢の2分団が増加し25分団とした
昭和35年	四日市市消防団の定員 1,258名とした
昭和39年	中部分団を廃止し、四日市市消防団の定員の見直しを実施24分団1,258名→427名
昭和53年 2月28日	大野正平氏消防団長を退任
昭和53年 3月1日	3代目消防団長に榊原孫七氏就任
昭和63年	海上分団に消防車両が配備され、全消防分団に消防車両が配備された
平成元年 1月31日	榊原孫七氏消防団長を退任
平成元年 2月1日	4代目消防団長に岩田忠兵衛氏就任
平成7年 3月3日	四日市市消防団・四日市市消防本部連名で、消防庁長官表彰を受章
平成9年 1月31日	岩田忠兵衛氏消防団長を退任
平成9年 2月1日	5代目消防団長に後藤正義氏就任
平成13年 7月31日	後藤正義氏消防団長を退任
平成13年 8月1日	6代目消防団長に堀善澄氏就任
平成17年 2月7日	四日市市と楠町の合併に伴い、四日市市消防団と四日市市楠消防団の2団制をとる
平成17年 9月1日	港分団を廃止し、女性消防団員15名による「サルビア分団」を結成
平成18年 2月24日	四日市市消防団が、消防庁長官から「消防団地域活動表彰」(団員確保功労)を受賞
平成22年 4月1日	四日市市消防団と四日市市楠消防団を四日市市消防団として一団化した 一団化に伴い、14分団で増員をするとともに機能別団員を採用し、定員を620名とした

### 歴 代 四 日 市 市 消 防 団 長

代	氏 名	在 職 期 間
初	九 鬼 紋十郎	昭和23年 9月29日 ～ 昭和24年 8月10日
2	大 野 正 平	昭和24年 8月11日 ～ 昭和53年 2月28日
3	榊 原 孫 七	昭和53年 3月 1日 ～ 平成元年 1月31日
4	岩 田 忠兵衛	平成元年 2月 1日 ～ 平成9年 1月31日
5	後 藤 正 義	平成9年 2月 1日 ～ 平成13年 7月31日
6	堀 善 澄	平成13年 8月 1日 ～ 現 在

### 歴 代 四 日 市 市 楠 消 防 団 長

代	氏 名	在 職 期 間
初	橋 本 巳貴也	平成17年 2月 7日 ～ 平成22年3月31日

消 防 団 の 概 況

(平成22年4月1日現在)

分 団	区 分	人 員							消 防 車		
		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長		団 員	
四 日 市 市 消 防 団	合 計	620	1	5	26	26	56	109	397	29	
	団 本 部	60	1	5			2	8	44	3	
		サルビア分団	15			1	1	1	2	10	
	北 部	羽 津 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		富 田 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		富 洲 原 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		大 矢 知 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		八 郷 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		下 野 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		保 々 分 団	22			1	1	2	4	14	1
	中 部	橋 北 分 団	17			1	1	2	3	10	1
		海 蔵 分 団	17			1	1	2	3	10	1
		海 上 分 団	17			1	1	2	3	10	1
		常 磐 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		三 重 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		神 前 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		川 島 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		県 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		桜 分 団	22			1	1	2	4	14	1
	南 部	塩 浜 分 団	17			1	1	2	3	10	1
		日 永 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		河 原 田 分 団	17			1	1	2	3	10	1
		内 部 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		四 郷 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		小 山 田 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		水 沢 分 団	22			1	1	2	4	14	1
		北 楠 分 団	37			1	1	4	7	24	2
	南 楠 分 団	27			1	1	3	5	17	1	

## 四 日 市 市 消 防 団 員 の 状 況

職業別消防団員数

(平成22年4月1日現在)

団 員 数 (人)	職 業 別	農 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ガ ス 熱 供 給 水 道 業	運 輸 通 信 業	卸 売 小 売 業 飲 食 業	金 融 保 險 業	サ ー ビ ス 業 不 動 産 業	公 務	そ の 他
	602	林業 漁業	27	78	219	16	42	76	4	61	23

消防団員の年令別状況

平均年令 40.8才

(平成22年4月1日現在)

階 級	区 分 総 数	18~20 才	21~25 才	26~30 才	31~35 才	36~40 才	41~45 才	46~50 才	51~55 才	56才 以 上
		総 数	<b>602</b>	<b>7</b>	<b>12</b>	<b>36</b>	<b>79</b>	<b>113</b>	<b>111</b>	<b>82</b>
団 長	<b>1</b>									1
副 団 長	<b>5</b>									5
分 団 長	<b>26</b>								3	23
副 分 団 長	<b>26</b>						2	2	6	16
部 長	<b>56</b>					2	7	12	16	19
班 長	<b>109</b>				6	16	29	28	17	13
団 員	<b>379</b>	7	12	36	73	95	73	40	26	17

消防団員の在職年数状況

平均勤続年数 15年

(平成22年4月1日現在)

階 級	区 分 総 数	5年未満	5年以上 ~ 10年未満	10年以上 ~ 15年未満	15年以上 ~ 20年未満	20年以上 ~ 25年未満	25年以上 ~ 30年未満	30年以上
		総 数	<b>602</b>	<b>203</b>	<b>84</b>	<b>95</b>	<b>66</b>	<b>56</b>

## 消 防 団 員 出 動 状 況

(平成21年度)

区 分		月 別											
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
計	回数	232	182	308	326	143	194	275	299	310	195	186	284
	人員	1127	1198	2045	2310	1096	1315	1470	1890	2015	1750	1251	1999
火 災	回数	17	17	12	13	10	27	3	5	40	28	19	27
	人員	156	233	149	130	105	273	27	51	389	283	210	261
残 火 処 理	回数		2			1	1		1				1
	人員		22			22	5		19				12
水 災	回数							6					
	人員							58					
訓 練	回数	25	41	173	211	55	53	77	124	101	74	29	56
	人員	181	272	1172	1588	432	395	359	745	377	807	258	264
警 戒	回数		1		1	5	3	27		59	2	13	1
	人員		6		22	55	20	142		458	23	61	6
ポンプ点検	回数	54	54	53	54	53	56	55	53	54	54	53	56
	人員	378	375	370	373	371	392	380	369	377	377	366	392
車 両 検 査	回数			2	1				1	2		2	
	人員			3	1				2	2		2	
そ の 他 災 害	回数	9	7	6	11	6	17	8	7	15	8	15	1
	人員	103	82	66	88	60	147	86	81	147	91	153	10
予 防 活 動	回数	3	4	2	2	3	2	8	52	11	3	8	61
	人員	13	18	12	12	27	12	32	392	70	18	82	632
警 防 調 査	回数	3	3	3	1	1	2	4	12	3	2	5	9
	人員	18	16	7	5	5	10	28	94	24	13	23	80
会 議	回数	43	42	30	14	7	23	54	33	21	16	34	53
	人員	127	120	95	49	12	38	312	113	164	53	77	284
研 修	回数	45	7						7			4	6
	人員	102	49						16			7	6
消 防 用 件	回数	33	4	27	18	2	10	33	4	4	8	4	13
	人員	49	5	171	42	7	23	46	8	7	85	12	52

## 消 防 団 訓 練 ・ 研 修 実 施 状 況

種 別	実 施 機 関	期 間	参 加 人 員
初 任 科 及 び 幹 部 科	消 防 本 部	4 月 1 0 日	5 1 名
機 関 員 科	各 消 防 署	4 月 1 3、2 0 日	7 1 名
普 通 科	三 重 県 消 防 学 校	6 月 1 9 日 ～ 6 月 2 1 日	1 名
指 導 員 科	三 重 県 消 防 学 校	9 月 1 1 日 ～ 9 月 1 3 日	2 名
幹 部 科	三 重 県 消 防 学 校	1 1 月 1 3 日 ～ 1 1 月 1 5 日	1 名
応 急 手 当 指 導 員	各 消 防 署	5 月、1 1 月	7 4 名
消 防 団 員 1 日 教 育 研 修	三 重 県 消 防 学 校	3 月 7 日	3 0 名
防 災 訓 練	四 日 市 市	9 月 1 日 他	約 3 7 0 名
規 律 訓 練	各 消 防 署	1 1 月	3 2 8 名
春 ・ 秋 の 火 災 予 防 運 動 ． 訓 練	各 消 防 署	3 月 1 日 ～ 3 月 7 日	1, 0 2 4 名
		1 1 月 9 日 ～ 1 1 月 1 5 日	
文 化 財 防 火 デ ー	各 消 防 署	1 月 2 4 日、2 5 日、2 7 日	1 6 名

## サルビア分団活動状況

四日市市消防団の女性消防分団(以下 サルビア分団)は、平成17年9月に、消防団の活性化対策の一助とするために結成されました。

主に火災予防啓発活動を行っており、具体的には、幼児を対象として行う大型紙芝居や小・中学生を対象として防火教室、防災教室、応急手当普及講習などの訓練指導を中心に活動しています。男性の団員とは違い、災害出動はしませんが、女性ならではの、きめ細かでソフトな対応能力を活用し創意工夫をしながら減災活動に取り組んでいます。

サルビア分団年間活動状況	平成21年度(回/年)
予防広報(大型紙芝居を含む)	4
消防操法訓練	90

※平成21年度は、全国消防操法大会へ向けての訓練を10月まで実施。

## 消防団防災支援隊の登録状況

「災害」への備えとしては、被害の発生を防ぐ「もの」の備えと、被害は出てもその拡大を防ぐ「ひと」「こと」の備えが必要であるといわれています。特に大規模災害が発生した場合には、地域における消火・救助・避難誘導等の防災活動が被害の拡大を食い止めるために重要になってきます。

そのため、四日市市として安全で安心して暮らせるまちづくりの推進事業の一環として、四日市市消防団から退職されました団員の消火技術や防災の知識・技術・経験を活かし、消防分団及び自主防災隊が行う消防・防災活動をボランティアで支援する四日市市消防団防災支援者制度を創設したものです。

登録状況

平成22年4月1日現在 176名